

# 町政報告会報告(意見交換内容等)

(令和5年7月19日～9月3日 町内22会場にて実施)

## 資料等

- ・参加者集計表
- ・報告会時使用資料
- ・意見交換内容

令和5年度 町政報告会参加者集計表

区名	日程		開催場所	参加者		
				※参考 9/1現在 住基人口 A	総合計(延人数)	
					総合計 B	% B/A*100
<b>後川内小学校校区</b>				<b>820</b>	<b>130</b>	<b>15.9%</b>
上後川内	7月19日(水)	19:00~20:36	上後川内多目的活動施設	423	60	14.2%
下後川内	7月20日(木)	19:00~20:35	下後川内多目的集会施設	343	59	17.2%
川平	7月21日(金)	19:00~20:11	川平多目的研修集会施設	54	11	20.4%
<b>広原小学校校区</b>				<b>1,361</b>	<b>140</b>	<b>10.3%</b>
西広原	7月24日(月)	19:00~21:30	西広原活性化センター	287	57	19.9%
上広原	7月26日(水)	19:00~20:50	上広原多目的活動施設	423	33	7.8%
下広原	7月27日(木)	19:00~20:30	下広原構造改善センター	651	50	7.7%
<b>狭野小学校校区</b>				<b>1,196</b>	<b>173</b>	<b>14.5%</b>
北狭野	7月28日(金)	19:00~20:35	北狭野神武ふるさと館	271	43	15.9%
南狭野	7月31日(月)	19:00~20:30	南狭野活性化センター	308	26	8.4%
祓川	8月2日(水)	19:00~20:35	祓川神楽殿	128	29	22.7%
小塚	8月17日(木)	19:00~20:10	小塚活性化センター	100	27	27.0%
中平	9月1日(金)	19:00~20:40	中平活性化センター	162	23	14.2%
湯之元	9月2日(土)	19:00~20:25	湯之元集落センター	227	25	11.0%
<b>高原小学校校区</b>				<b>5,307</b>	<b>390</b>	<b>7.3%</b>
花堂	8月18日(金)	19:00~20:10	花堂むらおこしセンター	313	21	6.7%
蒲牟田	8月21日(月)	19:00~20:10	蒲牟田活性化センター	377	52	13.8%
上麓	8月22日(火)	19:00~20:20	ほほえみ館 中研修室	1,200	112	9.3%
下麓	8月23日(水)	19:00~20:21	ほほえみ館 中研修室	700	46	6.6%
鹿児山	8月28日(月)	19:30~20:50	鹿児山農業構造改善センター	416	57	13.7%
並木	8月29日(火)	19:00~20:25	並木公民館	1,558	49	3.1%
出口	8月30日(水)	19:00~20:20	出口農業構造改善センター	561	32	5.7%
常盤台	8月31日(木)	19:00~21:05	常盤台活性化センター	182	21	11.5%
<b>各地区にて参加できなかった方</b>				<b>0</b>	<b>77</b>	
町内全域	9月2日(土)	13:30~15:15	ほほえみ館 中研修室		47	
町内全域	9月3日(日)	13:30~15:05	ほほえみ館 中研修室		30	
<b>合計</b>				<b>8,684</b>	<b>910</b>	<b>10.5%</b>

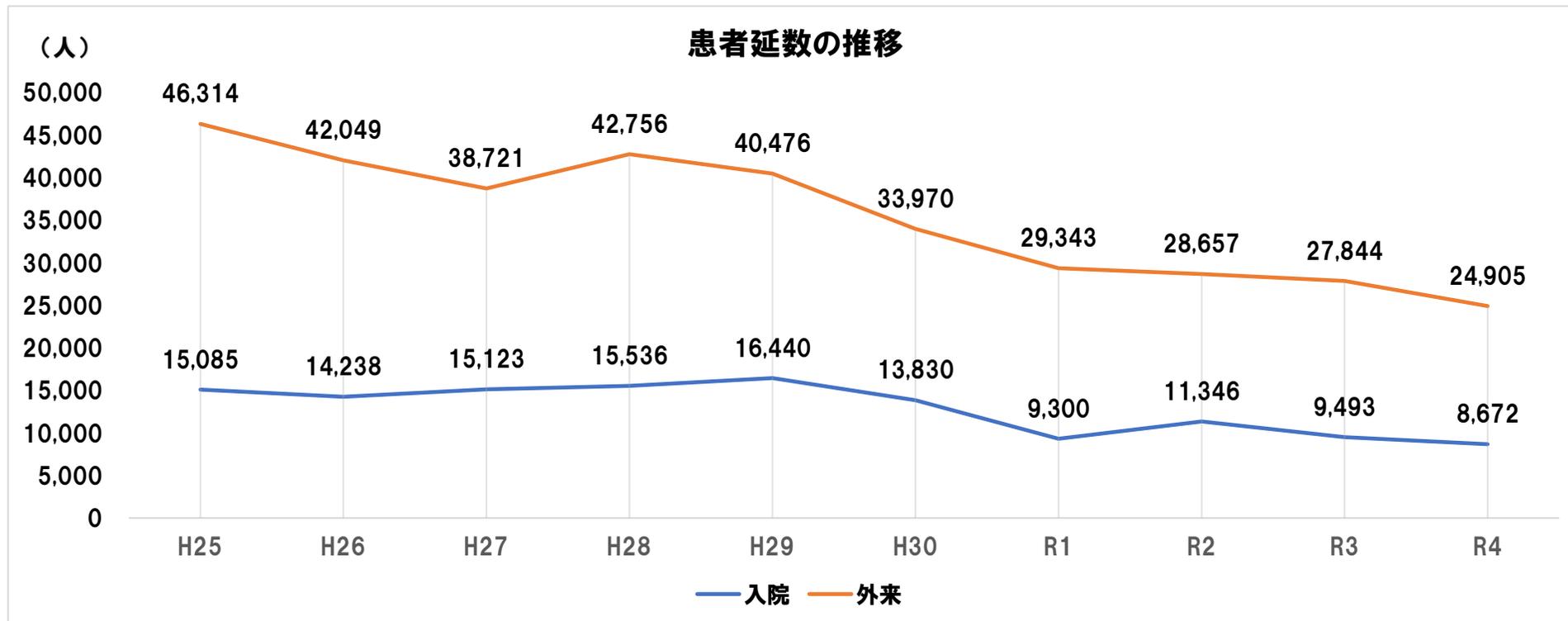
※参考 現住人口 8,191 910 11.1%

# 1 国民健康保険高原病院患者延数の推移（H25～R4）

資料 1

◇外来患者数[H25：46,314人（1日当：156.5人）→R4：24,905人（1日当：85.0人） ※約46.2%の減少]

◇入院患者数[H25：15,085人（1日当：41.3人）→R4：8,672人（1日当：23.8人） ※約42.5%の減少]



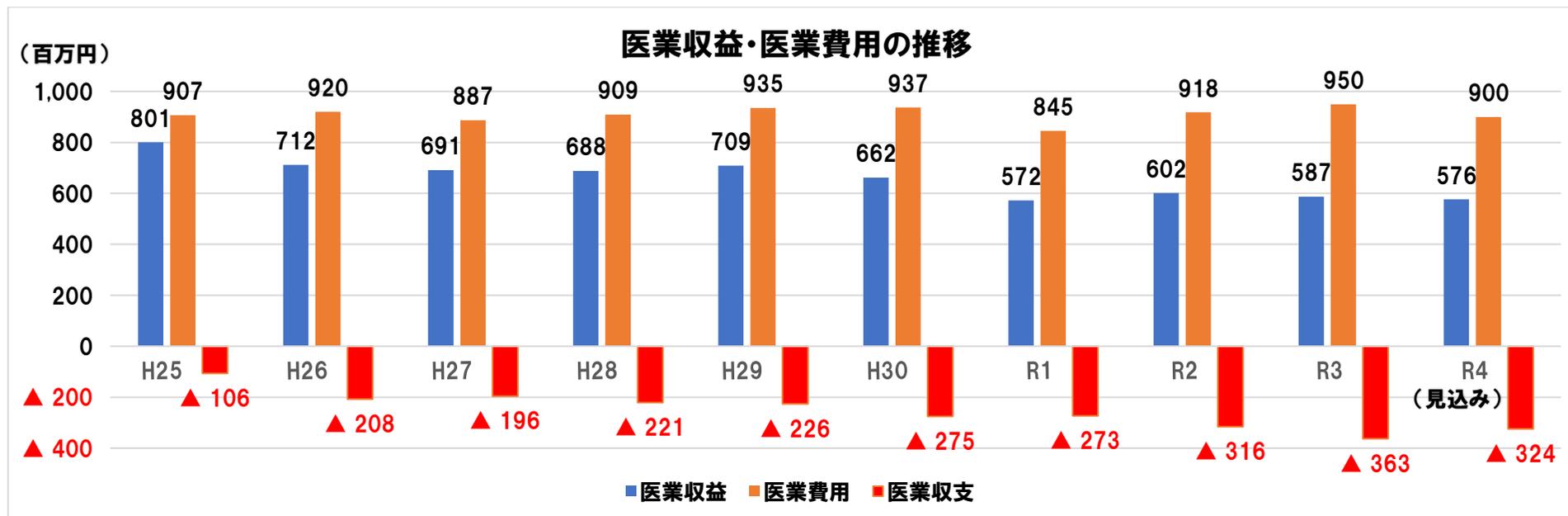
【参考（各年10月1日現在推計人口）】

（単位：人）

区分	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
現住人口	9,625	9,443	9,300	9,139	8,989	8,859	8,709	8,639	8,526	8,370

## 2 国民健康保険高原病院医業収支の推移 (H25～R4)

◇医業収益 (H25 : 8億100万円→R4 : 5億7,600万円) ※約2億2,500万円の減少 ◇医業費用 (H25～R4 ※9億円前後をほぼ横ばい)  
 ◇医業収支 (H25:▲1億600万円・H26.H27:約▲2億円・H28.H29:約▲2億2,000万円・H30.R1:約▲2億7,000万円・R2～約▲3億円)



【参考 (一般会計からの繰出金)】

(単位 : 万円)

区分	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
通常経費分	17,300	18,200	22,000	18,500	17,100	17,300	19,200	20,100	26,500	27,500
経営補助分	0	0	20,000	10,000	10,000	20,000	20,000	0	0	18,000
合計	17,300	18,200	42,000	28,500	27,100	37,300	39,200	20,100	26,500	45,500

## 1 財政収支見通し

(単位：百万円)

区 分		R3 (決算)	R4 (見込)	R5	R6	R7	R8	R9	R10
歳入	町税	787	821	772	761	751	742	733	724
	地方交付税	2,842	2,833	2,644	2,618	2,589	2,553	2,528	2,496
	国庫支出金	1,187	1,052	565	584	579	574	568	563
	県支出金	980	538	446	456	453	450	447	443
	地方債	501	382	408	403	403	403	403	403
	その他	1,340	1,215	981	937	936	936	936	936
	繰入金（特定目的基金等）	138	203	226	232	232	382	730	751
	繰入金（財政調整基金）	0	150	346	322	387	292	0	0
歳入合計		7,775	7,194	6,388	6,313	6,330	6,332	6,345	6,316
歳出	人件費	1,063	1,069	1,197	1,404	1,410	1,413	1,417	1,406
	扶助費	1,174	947	814	797	782	767	752	737
	公債費	590	560	573	574	571	554	548	516
	投資的経費	1,136	717	526	512	512	512	512	512
	物件費	1,002	983	1,092	1,114	1,136	1,159	1,182	1,206
	補助費	1,055	1,515	1,262	982	982	982	982	980
	繰出金	605	617	586	592	598	604	610	616
	積立金	806	536	200	200	200	200	200	200
	その他	167	156	138	138	139	141	142	143
歳出合計		7,598	7,100	6,388	6,313	6,330	6,332	6,345	6,316
収支過不足		177	94	0	0	0	0	0	0

(参考)

財政調整基金残高	1,216	1,297	1,001	679	292	0	0	0
その他基金残高	1,535	1,737	1,713	1,683	1,654	1,475	947	399
合 計	2,751	3,034	2,714	2,362	1,946	1,475	947	399

※この試算は現時点の資料に基づき作成したものであり、不確定要素を多く含んでおり、  
将来に向かって相当の幅をもってみる必要があることを申し添えます。

## 財政運営レベル

## 現 在

(財政運営警戒レベル)

## 運営厳しい

(財政運営警報レベル)

## 運営困難

(財政運営特別警報レベル)

## 財政健全化団体可能性

(財政運営緊急事態レベル)

## 【財政健全化団体とは】

## 1 早期健全化団体

財政健全化計画を策定し議会の議決を受けることが義務となる。

## 2 財政再生団体

(1) 国県の指導の下、財政を建て直す取り組みが行われる。

(2) 短期間での赤字解消を図るため、他自治体を上回る町民への負担増が求められる。

(3) 各種行政サービスの廃止や大幅な見直しが必須となる。

(4) 高原町の自治としての独自性は失われる。

## 2 財政収支見通し（第4次高原町行財政改革推進計画目標）

令和5年6月時点

（単位：百万円）

区 分		R3 (決算)	R4 (見込)	R5	R6	R7	R8	R9	R10
歳入	町税	787	821	772	761	751	742	733	724
	地方交付税	2,842	2,833	2,644	2,618	2,588	2,551	2,525	2,494
	国庫支出金	1,187	1,052	565	585	579	573	568	563
	県支出金	980	538	446	456	453	450	447	443
	地方債	501	382	408	403	403	403	403	403
	その他	1,340	1,215	1,063	1,059	1,099	1,139	1,139	1,139
	繰入金（特定目的基金等）	138	203	230	259	279	299	481	513
	繰入金（財政調整基金）	0	150	335	227	257	278	134	108
	歳入合計	7,775	7,194	6,463	6,368	6,409	6,435	6,430	6,387
歳出	人件費	1,063	1,069	1,120	1,317	1,324	1,330	1,334	1,324
	扶助費	1,174	947	814	797	782	767	752	737
	公債費	590	560	573	573	568	551	544	516
	投資的経費	1,136	717	526	512	512	512	512	512
	物件費	1,002	983	1,096	1,102	1,107	1,113	1,118	1,124
	補助費	1,055	1,515	1,302	1,009	1,029	1,049	1,049	1,047
	繰出金	605	617	654	660	666	672	678	684
	積立金	806	536	240	260	280	300	300	300
	その他	167	156	138	138	141	141	143	143
	歳出合計	7,598	7,100	6,463	6,368	6,409	6,435	6,430	6,387
収支過不足	177	94	0	0	0	0	0	0	

### 財政運営レベル

#### 現 在

（財政運営警戒レベル）

#### 大規模災害対応不可

（財政運営警報レベル）

#### 運営不可

（財政運営特別警報レベル）

#### 財政再建団体可能性

（財政運営緊急事態レベル）

#### 【計画目標に向けての取組み】

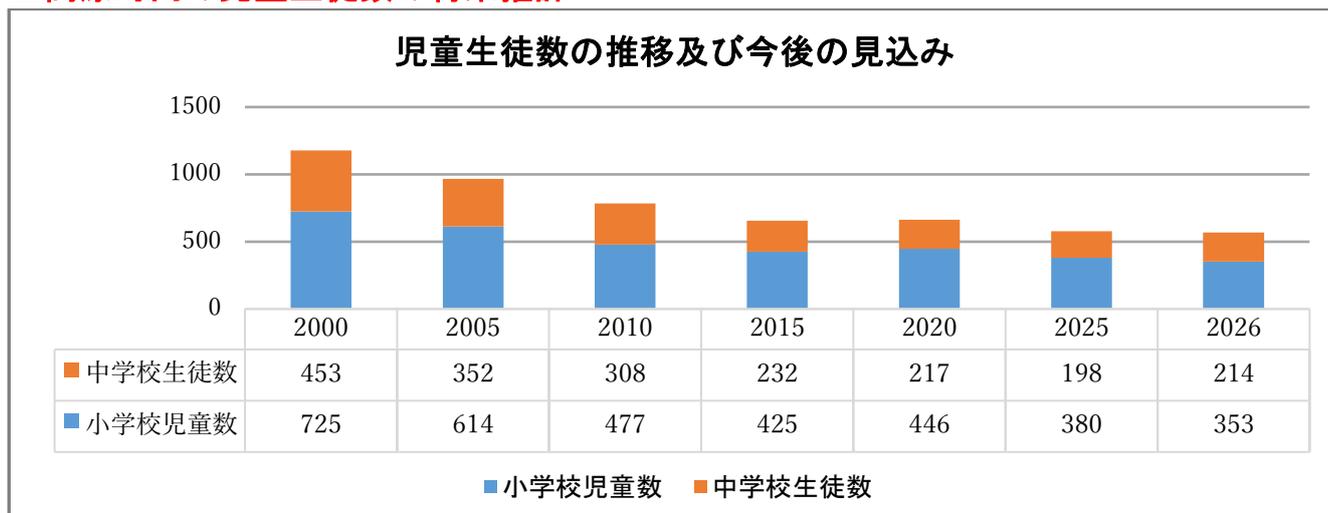
- 1 自主財源の確保
- 2 投資的経費の重点化・効率化
- 3 事務事業の点検と見直し
- 4 人件費の削減
- 5 行政デジタル化の推進
- 6 民間活力の活用
- 7 行財政システム改革

（参考）

財政調整基金残高	1,216	1,297	1,012	785	528	250	116	8
その他基金残高	1,535	1,737	1,748	1,751	1,753	1,756	1,576	1,365
合 計	2,751	3,034	2,760	2,536	2,281	2,006	1,692	1,373

※この試算は現時点の資料に基づき作成したものであり、不確定要素を多く含んでおり、  
将来に向かって相当の幅をもって見る必要があることを申し添えます。

## ■高原町内の児童生徒数の将来推計



## ■児童生徒数の将来推計

## 【小学校】

	R3 (2021)		R5 (2023)		R7 (2025)		R8 (2026)		R9 (2027)	
	児童数	学級数								
高 原	323	12	313	12	288	12	261	11	248	10
広 原	52	5	45	4	35	3	33	3	32	4
狹 野	35	3	31	4	30	4	34	4	37	4
後 川 内	26	4	26	3	27	3	25	3	21	3
合 計	436	24	415	23	380	22	353	21	338	21

## 【中学校】

	R3 (2021)		R5 (2023)		R7 (2025)		R8 (2026)		R9 (2027)	
	生徒数	学級数								
高 原	195	6	196	6	189	6	202	6	213	6
後 川 内	14	2	11	2	9	2	12	2	14	2
合 計	209	8	207	8	198	8	214	8	227	8

## ■これまでの経緯

- 平成 16 年 後川内小学校で複式学級開始
- 平成 18 年 小規模特認校の指定及び学校規模適正化の検討
- 平成 19 年 「高原町立小中学校の適正規模及び適正配置のあり方」方針決定  
広原小学校で複式学級開始（単年のみ）
- 平成 21 年 高原町立小・中学校規模適正化検討委員会 統合答申
- 平成 22 年 高原町長より平成 25 年の統合は困難との回答  
狹野小学校で複式学級開始
- 平成 23 年 高原町ならではの一貫教育（連携型）開始
- 平成 26 年 後川内中学校で複式学級開始
- 平成 27 年 後川内中学校入学者が皆無
- 平成 28 年 高原町立後川内中学校検討委員会  
高原中学校への統合条件答申
- 平成 31 年 広原小学校で複式学級再開
- 令和 2 年 高原町学校のあり方検討委員会 答申

※これまでの答申を踏まえ、令和 3 年 5 月 11 日の高原町教育委員会定例会において「高原町学校規模適正化基本方針」を決定し、同月 14 日に当該基本方針を付した「高原町立小中学校のあり方について」を高原町長へ具申しました。

# ふるさと納税の増額は

# 住民サービスの向上に繋がります！

## 寄附金の用途

頂いた寄附金は、町の発展のために次のような事業に活用しています。

### まちづくり、人づくり、ものづくり支援

#### ● 総合型ハザードマップ作成事業

高原町内で起こりうるハザード情報をまとめたマップを作成しました。



#### ● 中央公民館図書室運営事業

町民の読書推進を図るため図書室の整備を行いました。

### 産業振興支援

#### ● 高原町創業・起業支援事業

空き店舗や空き家で創業する方に、改修費等の一部助成を行いました。



#### ● 高原町和牛次世代確立対策事業

品評会で優秀な成績を収めた雌牛を購入する農家に一部助成を行いました。

### 子育て支援

#### ● 学校給食費補助事業

小・中学生の給食費の半額補助を行いました。



#### ● 乳幼児・子ども医療費助成事業

未就学児や小中学生の保険診療分の医療費の一部助成を行いました。

### 福祉、健康づくり支援

#### ● 健康教育事業

健康増進のため運動教室等を実施しました。



#### ● 健康診査事業

健康づくりの一環として、がん検診、健康診査、歯科検査等を行いました。

## 人気の返礼品

ふるさと納税は返礼品をご出品いただいている各事業者、関係者の皆様のご協力により成り立っています。

### 第1位 肉・精肉加工品

畜産の町 高原町。宮崎牛を筆頭に、鶏肉加工品やハンバーグなどが安定した寄附を集めています。



### 第2位 卵

年々、日用使いの返礼品に注目が集まっている中で、甘みと旨味が絶品の高原町の卵は大人気の品です。



### 第3位 果物

マンゴー、ぶどう、梨、金柑など旬のフルーツは、固定ファンがいるほどの人気のカテゴリーです。



### 第4位 米・穀類

### 第5位 スイーツ類

他にも、宿泊招待券やゴルフプレー券といった体験型の返礼品も含めた高原町らしい品々を数多くラインナップしています。

◆病院関係

区名	質問・意見等	回答	
上後川内	・医師不足と人口減少により町立病院の患者が減少しているとのことだが、他の病院も同じことが言えるのか。	・直接的なことは分からないが、人口減少で厳しくなるとは聞いている。	町長
上後川内	・患者が減少しているのに医療費用はなぜ変わらないのか。	・医療支出は給料費、材料費、経費であるため、一定の数字となる。	統括主監
上後川内	・病院職員の雇用はどうなるのか。	・職員への説明を2回開催。 アンケート実施、個人面談も実施中。	町長
上後川内	・議会だよりで来客者への対応が悪いと書いていた。そういうことで患者が離れているように思う。 町立病院の場合、治療が終わって会計が済むまで早くて30分もかかる。 デジタル化の時代なのに、事務の人がカルテを持って移動している。 その辺を工夫できれば患者数は減らないのではないか。	・職員へ指導をした。 再度徹底を図りたい。	町長
上後川内	・新しいMRIが導入されたというポスターが貼っているが、有効活用されているのか。	・メンテナンスの維持にも費用はかかっている。	町長
上後川内	・コロナのような病気が流行した場合、休床となれば町民の健康は守られるのか。 19床ぐらいは残してほしい。	・様々な方向からの検討。 財政への影響も視野に運営形態を決定する。 今後の報告会を終えた後で方針決定。	町長
上後川内	・人口減少はどこも同じ問題であり、町立病院は赤字だが、なぜ民間は成り立つのか。 入院患者の減るスピードが早くないか。 病院の経営に対し専門家などの意見はあったか。	・職員の対応も考えられるが、人口減少も原因の一つにあると思う。	町長
上後川内	・病院黒字はいつ頃になるか検討しているか。	・現時点では、いつ黒字になるかは想定していない。 黒字よりも、まずは収支の差を縮めたい。	町長
上後川内	・医師が辞めた理由はなにか。	・1人は定年退職。 もう一人は自己都合のため不明。	町長
上後川内	・今後医師が増える見通しはあるのか。	・現時点では確定なし。 他の病院でも苦勞している。 知人がいれば教えてほしい。	町長
下後川内	・病院経営について、なぜ医者がいなくなるのか。 現在の状況になった原因・課題を把握してきていたのか。 病院スタッフの様々な意見を聞いて、患者が行きたいと思える病院にしていくべきではないのか。	・医師の確保については、現状なかなか難しい。 定年退職や自己都合等様々な要因がある。 元気化プロジェクト等を通して色々と課題を見つけようと検討したが、コロナの影響などもあり難しかった。 医者の確保は重要課題であると考えため、努力したいと考える。	町長

◆病院関係

区名	質問・意見等	回答	
川平	・病院の医師が確保できない原因は何か。	・病院の医師確保病院形態関係なく絶対に取り組まないといけ ない。 宮崎県、鹿児島大学、医師派遣の依頼、町にゆかりのある 方に声をかけたり、SNSを活用して募集している。 皆様の力を借りて医師確保に努めたい。	町長
川平	・今後高齢者が増えて必ず必要となると思うが。	・常勤医師が現在1名(院長)プラス非常勤の医師で現状維持 をしているところである。 引き続き医師確保に努めたい。	町長
西広原	・費用を最小化する点から言えば、町立病院が「廃止」にな らなかつたのは残念。 そういう案もあっていいのでは。	・町立病院について3通り(休床、無床等)のパターンの説 明をしたが、廃止は考えていない。 これまでも地域医療、コロナ対応等公立病院の役割を果 たしてきている。 廃止のご意見も受け止める。	町長
西広原	・現在町立病院にいる看護師数は。 看護師の今後の処遇は。 看護師への聞き取りをすると聞いている。 転職、行政職員への配置換え等、どのような希望状況 か。	・看護師正職員31名、看護師以外(薬剤師等、事務職除 く)46名。 2回説明会実施し、規模縮小はやむを得ないということ で理解をもらっている。 アンケートを実施して、本人の意思を尊重することにな る。	町長
西広原	・行財政改革をする一方で看護師の処遇が決まらず、今後 の財政見通しは立つのか。	・財政見通しについては、人件費をそのまま一般会計に移 した場合の想定であるため、そこは変動してくる。	町長
西広原	・看護師を行政職へ配置し、新規採用をしないのであれ ば、町政の継続ができないのでは。	・必要な新規採用は行うが、これまで通りの採用はできな い。	町長
西広原	・元気化プロジェクトについて町民への説明がない。	・元気化プロジェクトでは、町や西諸医療機関等で、病院 内部の見える化、内部改革など、しなければならぬこと を出して、職員へ伝えるなどして取り組んできた。	町長
西広原	・財政赤字の中で、病院をゼロに、看護師には退職しても らって、町は学校の維持管理費を負担するのみで現状維持 を希望する。		
上広原	・町立病院の現在の職員はどうなるのか？ かかりつけが無くなるのが心配だ。 高齢者はどうしたらよいか？ そもそも高原町が発展する見込みは少ない。 来年すら厳しいのではないか。	・病院縮小は避けられない。 病院が無くなる訳ではない。 どのような形態で残していくかを住民の意見を伺いなが ら維持について模索していきたい。 外来診療を継続することは使命と考えている。	町長
上広原	・宮大の支援医にかかっているが継続して支援があるの か。	・支援医については非常勤医であるので、諸事情あり同一 人物が継続できるかは不透明。 努力はしたい。	町長

◆病院関係

区名	質問・意見等	回答	
上広原	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師は継続して残るのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営形態の見直しに伴う職員削減は回避できない。職員向け説明会を実施し意向の聞き取りを行っている。各職員の意思を尊重していきたい。</li> </ul>	町長
上広原	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでも利用者が減る中で毎年、同程度の運営費がかかっている。また、同じことを繰り返すのではないかと懸念している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立病院の使命としての新型コロナ対策等を実施しており、利用者減の中でもコロナ以前と同程度の運営を行ってきた。ただし、今後は町からの同額支援は困難と考える。財政健全化を図る。</li> <li>・診材、給与が主な内訳である。これらの経費は固定費的な性格があり毎年同額の経費がかかっている。</li> </ul>	町長 統括主監
上広原	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町立病院を閉鎖するという考えはあるのか。行政(学校建設等)を圧迫するのであれば閉鎖という選択肢はありだと思うが、方向性を示してほしい。住民としての意見を述べられない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院は不要ではないかという意見は、他会場でもあった。町政報告会の目的の一つに広く住民の声を聴くということがあるので、ご意見を頂戴した上で、方針決定を進めたい。</li> </ul>	町長
上広原	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院廃止に賛成。</li> </ul>		町長
上広原	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町立病院建替え時の現在の借金残高について教えて欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・借金残高は約7億円。</li> </ul>	町長
上広原	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院を廃止して役場が引っ越すなど、公的な建物の有効活用について考えて欲しい。病院の人件費削減については、職員削減しか方法はないのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規採用の抑制、退職勧奨、超過勤務削減を進めている。</li> </ul>	町長
上広原	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院存続を希望。両親は入院時に良くしてもらった。他院では、看取りができないと言われ町立病院に転院した。</li> </ul>		
上広原	<ul style="list-style-type: none"> <li>・患者が町外に流れている。支出面だけを対策しても改善は困難ではないか。町内外の医療機関の役割のバランスも考慮する必要があるのではないか。他町でも学校統合問題で揺れているが、やはり財政問題があるように感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他会場でも多様な意見を頂戴している。まずは、しっかりと事実を伝えて皆さんと解決策を考えたい。</li> </ul>	町長

◆病院関係

区名	質問・意見等	回答	
上広原	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前院長が在籍しているところは、経営が安定しているように感じる。 現在は、別の病院に在籍されているが経緯等が知りたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報に関わることなので、お答えできる範囲で回答する。 令和元年に定年退職され、翌年には非常勤医として勤務していただいた。 医師確保について引き続き努力していくので、町民の方からの紹介や情報提供等があれば、ぜひお願いしたい。</li> </ul>	町長
下広原	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院問題はもう少し早い段階で何とかならなかったのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで9億8千万円の一般会計からの補填を行っている。 もう少し早いうちに、改善に向けて手を付けなければならなかったと反省している。 今後、運営体制を見直し、病院経営が財政に与える影響を抑えていきたい。</li> </ul>	町長
下広原	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町立病院の問題の中で、職員の削減が想像される。 看護師などは、役場へ戻すのか、他の病院へ転勤を勧めるのか。 どのような対応をする予定か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町立病院の経営体制を見直す中で規模縮小による職員の削減はでてくる。</li> </ul>	町長
北狭野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ医師は辞めたのか。 それでは住みよい高原ではない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1名は定年退職。 もう1名は自己都合のためそれ以上のことは分からない。 非常勤医者も来てはくれている。 56床の維持は困難と考えている。 新たな体制を検討する。</li> </ul>	町長
北狭野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名医を全国から探すことはできないか。 いつも宮大や鹿大で探している気がする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学からの派遣が厳しくなっている。 大学への要望も続けているが、町出身の方や町ゆかりの方も数名いるので、そのような人にも話をしている。 宮崎県への要望もしている。 町民からの情報もあれば教えてほしい。</li> </ul>	町長
北狭野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからも医師の確保は難しいのではないか。 医師が不足することを見据えて方向付けしたほうがよいのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・方針を決めて説明すべきという話もあったが、報告会での意見などを含めて決めていきたいと考えている。 常勤医師1名の状況を改善できることを優先して進めたい考えである。</li> </ul>	町長
北狭野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間ドックの設備も残っているのではないか。 昔好評だったので人間ドックに特化してはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間ドックは現在、中止している。 設備活用も考えていきたい。</li> </ul>	町長
北狭野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自衛隊の先生をあたることもできないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防衛医科大学を卒業した町民はいなかった。 大学の人で、民間へ派遣されている医者もいる。 これからも調べていく。</li> </ul>	町長
北狭野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師の確保に目途はたっているのか。 確保すれば黒字になるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今は確保のために動いている。</li> </ul>	町長

◆病院関係

区名	質問・意見等	回答	
南狭野	・これまで議会等で病院経営について指摘されてきたが、町長は真摯に対応してきたのか？	・議会等からの指摘については、真摯に対応してきた。 (町長)	町長
南狭野	・町長就任から日経っているのに、町立病院問題の解決策がない。 こうなっては町立病院を売るか外部委託するか検討できないのか。 町立でなくてもよいと考えるが。	・病院の規模縮小はやっていかななくてはならないが、現状は公立の病院として継続していく考えである。	町長
南狭野	・病院の救急は残してほしい。	・現在の常勤医師1名の体制では、入院含め救急についても不測の事態が起こった場合に対応することが困難になる。 こういった現状が続けば救急の受入れはできないことをご理解いただきたい。	町長
南狭野	・病院の問題について、入院ができなくなる場合は、町外の病院へ行けということなのか。	・入院を受け入れない場合は、西諸圏域の病院で受け入れてもらうように町のほうで調整を図っていくことになる。	町長
南狭野	・病院というのは外来と入院が密接に関係していると思う。 例えば持病があったりした場合、外来だけでは信用して行くことができないと思う。 現に周りで3人ほど、外来だけで入院ができないのであれば行かないと決めている人がいる。 外来だけで病院は成り立っていくのか疑問に思う。	・現在の常勤医師1名の体制では、入院含め救急についても不測の事態が起こった場合に対応することが困難になる。 もし、無床外来になった場合などは、西諸圏域の医療機関と調整しながら入院を受け入れてもらえるような経営形態を考えていく。 まずは、常勤医師の確保を目指していく。	町長
南狭野	・前の町立病院の院長が別の病院にいるが、退職の理由は。 完全引退なら分かるが、現役で働いている。 引き止められなかったのか。	・医師の自己都合により退職しているため、引き止めなどはできなかった。	町長
祓川	・合併協議時に、町立病院を残してもらいたくて反対した。 当時の病院の経営状態がなぜ今こんなに悪くなったのか。 なぜ今の時期に町政報告会をするのか。	・合併をしなかった経緯に病院があったのは確かで、地域の医療として公立病院を残さなければならないという判断があったのだと思う。 人口減少等の原因により現状の経営状態に至っている。 町政報告会の大きな理由は、常勤医師が1人体制で、公立病院の管理が困難となっていること。 人口減少下の今後の病院の収支状況を考えても、運営形態を見直す時期にきたという判断。 現状での継続は困難である。	町長

◆病院関係

区名	質問・意見等	回答	
祓川	<p>・町立病院で人間ドックをずっと受けてきたが、受診患者が多かった。 常勤医師1人体制が理由であるのであれば、医師確保の為にどのような努力をしてきたのか。 昔は鹿児島大学の第1内科の先生がきており、当時は良好な関係が築けていた。</p>	<p>・高原町と鹿児島大学との親密な関係が当時あったことは聞いている。 現在は鹿児島大学でも県外には医師を出せない事情や、全国的な研修制度の変更により、医局の意思で医師派遣ができなくなった事情がある。 鹿児島大学には常勤医師の派遣を依頼はしたが、非常勤医師を派遣してもらっている状態であり、この関係は引き続き必要。 西諸2市1町で宮崎大学にも依頼する。 自治医大の医師を派遣してもらいたいことを知事に依頼している。 高原町とつながりがある医師の情報を収集しており、SNSなどを活用しての取組みもしている。</p>	町長
祓川	<p>・町立病院は待ち時間が長いという話を聞くので、受付から支払いまでの時間短縮ができればいいのではないかと。 例えば木曜を休診して、日曜に診療日にするといいのではないかと。</p>	<p>・元気化プロジェクトで、ご指摘の件も含め、病院の各種問題を改善していこうという取り組みをしてきた。 ご提言としてお受けして、病院につないでいきたい。 日曜は西諸医師会により西諸全体で在宅当番医の割振りがしてあるので、ご理解をいただきたい。 医師にも働き方改革(労働時間)が適応される。 西諸医療圏での連携がより必要となるので、今後の働き方改革を注視していきたい。</p>	町長
祓川	<p>・町立病院職員への説明時に、職員から、無床にすると外来にも患者が来なくなるので、有床でとお願いしていた。 検討した3パターンについてもそれぞれ赤字見込みを出してほしいと伝えていた。 町民のためには町立病院の有床を残してほしい。 無床では在宅施設の撤退の話もでていた。 医師が確保できないから無床ではなく、医師1人体制でも診療所として有床を維持してほしい。</p>	<p>・今後の赤字見込み、常勤医師が1人体制という要因があり、形態見直しはやむを得ないという話はした。 これらを勘案して3つのシミュレーションを出した。 入院ができる医療機関であってほしいという要望はもちろんである。 病院はいらぬという声なども様々あり、それを踏まえて医療をどう残していくか十分検討していきたい。 病院管理者は常勤医師であり、非常勤医師では代わりができない。 常勤医師1人体制を解消することが喫緊の課題。</p>	町長
祓川	<p>・なぜ町立病院がこのようになったのか、もう少し早く手を打てなかったのか。</p>	<p>・地域の医療を担う公立病院の役割(コロナ感染の外来、入院受け入れ)が今までずっとあった。 常勤医師が1人になったこと、財政が厳しいことを受けての町政説明会となる。 なぜもっと早くできなかったのかというご指摘は当然であり反省している。</p>	町長
祓川	<p>・病院は地域医療、住民サービスを考えてこれからも病院を残してほしい。</p>		

◆病院関係

区名	質問・意見等	回答	
小塚	・病院利用者のうち町民の利用率はどのくらいか。	・70%ほどはないかと推測する。	町長
小塚	・高原病院は、国保病院で国保財政が柱ではないのか。なぜ危機に陥るのか。	・国保からの補助金はあるが、運営を賄えるほどではない。	町長
小塚	・医師不足は住民の健康面の問題なので、町内の問題にとどまらないはずで、郡医師会や県からの支援（関係性は）はないのか。	・宮崎県知事、鹿児島大学へ医師派遣をお願いしているが、確保に至っていない。	町長
花堂	・町立病院について、医師不足・経営難等の説明があったが、合併の話があった時に町立病院を残すことになった。努力が足らなかったのではないのか。町立だけなぜ医師が来ないのか。	・改善努力は都度図ってきた。病院を無くすわけではない。どのような形態であれば残せるのかというのを模索していく。様々な手段を講じながら医師確保に努めている。	町長
花堂	・病院について、平成29年30年の落ち込みの原因。その当時どのような対応をしたのか。	・医師の安定的な雇用ができなかった等様々な理由があったと思う。都度改革を行ってきた。 ・当時の医師の方針でリハビリの外来の患者を保険の関係で、介護保険の方々を介護施設に回した。長期入院の患者の入院単価を上げるために、在院日数を短くする必要があったため、入院患者を退院させたことが原因。	町長 統括主監

◆病院関係

区名	質問・意見等	回答	
花堂	・病院の見直しだけでいいのか。 財政が厳しくなれば町独自の取り組みができなくなるのでは。	・病院の財政状況が町全体の財政に与える影響が大きい。 もちろん病院だけではないとは考えていない。	町長
蒲牟田	・町立病院問題について、今まで町長含め、議会などでどのくらい協議してきたのか？	・まずは、令和2、3年度において、病院内部で様々な改革に取り組んできた。 例えば、病院職員の待遇改善や町民参画の元気化プロジェクトなどを行ってきた。 その上で、町組織や議会などで報告などを行いながら、病院問題について協議してきた。	町長
蒲牟田	・今後の病院の経営形態について、19床以下で入院の受け入れができない病院になることで、医師や看護師の離職が懸念される。 しかし、例えば現在の56床に将来戻した場合、また職員は戻せるのか。 病院の運営については、様々なケースを想定しながら、ゼロベースから考えていくべきではないのか。	・経営形態の見直しは適宜行っていかなければならない。 現在、経営形態については、3つのパターンを想定して考えているが、現在の56床のベッド数維持は継続しないという考えである。 また、町財政や町立病院に対する医療の需要などを考えた場合、入院を想定しない無床の病院もありえる。 当然、病院の適正規模縮小を考えた場合、医師を含む職員は減らさなければならぬと考えている。 それに向けて、これまで病院職員と面談などを行ってきた。 今後も経営形態の方向性を適宜検討しながら、病院としての在り方を考えていく。	町長
上麓	・病院全体の見直しについて残念に思う。 医師確保の為に、福利厚生の見直しや、外部の経営アドバイザーを入れたりしているのか伺いたい。	・病院会計については、コンサルをいれながら運営の見直し、内部の点検見直しをしてきた経緯はある。 町の財政運営については、コンサルや外部への相談はしていない。 過去には、町財政運営全般について県に相談をしたことはあるが、現在はしていない。 町の財政計画に従って取り組んでいく。	町長
下麓	・今後の医師確保の見込みはたっているのか。	・現在も確保へ向けて動いている。 鹿児島大学、自治医大、町出身の医師へのアプローチを続けている。	町長
下麓	・病院体制の3つの案をいつまでに判断されるのか。 もう一度町政報告会を行うのか。	・町政報告会が終了した後に、早く判断する。 説明は必要と考えている。	町長
下麓	・患者延べ数の内、町民の利用率は何%か。 延べ数で一人何回も利用している人もいると思うので、実人数は何人なのか。	・60~70%で、実人数は現在資料がないところである。	町長
下麓	・病院規模を縮小したときに赤字幅はどうなるのか。 町立病院としての役割を果たせるのか。	・赤字幅を少なくする手段、病院の役割についてもこれから検討していかなければならない。	町長

◆病院関係

区名	質問・意見等	回答	
下麓	・魅力がないから外来が減っているのでは？町立病院の魅力はどのように考えているか。	・これまで多くの声を聞いていて、病院内部を改善できるように努めている。	町長
鹿児山	・現在の正職員数、会計年度職員数は。	・正職員数180名 病院50名、他130名 会計年度職員 病院30名、他40名	町長
鹿児山	・人口が減っているが、人件費が増えているのはなぜか。	・病院規模縮小となれば、病院職員が役場で勤めることを見込んでいるためである。	町長
鹿児山	・病院の専門職（看護師、作業療法士など）が役場へ来るのか。 他の病院へ行くのか。	・町立病院へ残るのか、他の病院で勤めるのか、役場職員として働くのか、アンケートを実施している。 また、退職希望者を募ることも行っている。	町長
鹿児山	・病院検討委員会の議論の結果は。 町の医療需要を考えて病院縮小を検討してほしい。 町の本気度がまだまだだと感じているが、町民はどのような姿勢でいけば良いのか。	・町立病院の役割をどのように残していくか、どのような運営形態をとるか、町民の意見を聞いたうえで、最終的に方針決定したい。 これからの町政について町民に理解してもらうことが多々あるかと考えている。	町長
鹿児山	・赤字補填は町民に負担が大きいので、病院を廃止すべきではないのか。 診療所の形態か廃止の選択ではないのか。	・現在の56床の形態を継続することはない。 来年度には新しい形態での運営としたい。 病院を廃止したほうが良いという話もあるので、報告会での意見も聞いたうえで結論を出すこととしている。	町長
並木	・病院経営の3案について、どのような形で選択するのか教えてほしい。	・町政報告会后、速やかに意思決定を図りたい。 一つは、10月までに医師確保ができるかがポイントである。 ただし、町民にとって重要な機関なので多角的な面で検討したい。	町長
並木	・患者数が減ったのは人口減が原因とも言えないと考えているが、（高齢者は近くの医療機関にかかるので減らないはず）運営に係る経費は変わらない。 体制を維持しているのに、人件費が収支を圧迫しているのではないのか。	・人件費が最も高い経費である。 行財政改革の肝となる点であると認識している。	町長
並木	・病院維持するために無床病院で循環器内科があると良いと思う。 また本件の進捗については、適宜、周知して欲しい。	・貴重なご意見として賜る。	町長
並木	・これまでの質疑を聞いて、町と町議が連携して町立病院に大なたを振るう選択肢もあるのではないかと感じた。 病院は何らかの形で維持はして欲しいので、近隣医療機関（町の民間医院や圏域の医療機関等）と連携して良い形をつくって欲しい。	・西諸圏域の公立病院で連携を図る構想もある。 医師確保は必須事項であるので、引き続き努めたい。	町長
並木	・人件費が大きいと思うので、看護師の配置転換も検討されれば良いのではないのか。	・病院職員の削減は意識しており、現状では個人面談等を行いながら意向確認を進めている。	町長

◆病院関係

区名	質問・意見等	回答
並木	<p>・医師確保に努めて病院存続をして欲しいと強く要望する。</p>	<p>・宮崎県・鹿児島県、高原町にゆかりの医師に要請活動を行っている。</p>
並木	<p>・病院と診療所の運営形態等の違いについて教えて欲しい。 国の補助等に違いは生じないのか。</p>	<p>・主な点は、ベッド数が異なる。 0床は、無床診療所 19床以下は、有床診療所 20床以上は、病院 ・法律上、常勤医が不在となった場合、病院全体を（入院外来ともに）休診しなくてはならない。 一人体制だと何らかの理由で管理ができないと見直され強制的に休床となりうる。 診療報酬単価が異なる。 そのため、診療所になると低くなる。 補助金もベッド数に応じて算出されることが多く、低くなることが見込まれる。</p>
出口	<p>・病院の医者を2名は確保したいといったが実際は何名いるのが望ましいのか。 どのような方法で募集、探しているのか。 病院はなくさない方向で行くということは今回の説明で納得した。</p>	<p>・現在は、常勤医師1人と非常勤医師で何とか診療態勢は整っている。 しかしながら、現状のまま継続していくのは管理上厳しいため医師確保には努めていかなければならない。 医師の確保は、これまで関係を築いてきている鹿児島大学へお願いを行っている。 また、宮崎県が宮崎大学を中心に、医師が県内に残るような取組を行っており、徐々に成果が出てきているので、その取組を継続的に行うようお願いしている。 また、高原町出身又は縁のある医師へもお願いをしているところである。 医師の人数については、運営形態により必要人数は変わってくるが、理想は常勤医師3名である。</p>

町長

町長  
統括主監

町長

◆病院関係

区名	質問・意見等	回答	
出口	<p>・病院は公立なのに医療費が県内でも高い。他の病院へ行くから患者数が減っていると以前に聞いた。 町として収入を増やす取組を何かしているのか。また町民に求めていることとは何なのか。</p>	<p>・財政に関する質問かと思うが、10年間の収支見通しの説明をしたがあくまで見通しであって、その都度見直しは出てくる。 その見直しの段階でも町民への説明は必要になってくると思う。 長期的な計画では総合計画などあるが、今回の見通しについては、現況のままを説明した。 病院経営が町の財政にも大きく影響をしている中で、病院の運営形態や常勤医師問題について今回は説明をしている。 財源の確保は行政運営で一番重要な課題である。 財源を確保するためには外貨を稼ぐふさと納税の推進を行っていききたい。 現状を説明して、町民の皆さんにもかんがえていただき、意見をいただきたいと思い、この意見交換を行っている。 今回の報告会后に方針を早急に決定して、町民の皆さんには再度説明を行う。 内容によっては、町民の皆さんにお願いをいただく部分がある。</p>	町長
出口	<p>・現在いる非常勤医師の中で常勤になってくれる医師はいないのか。 また、町立病院はまだ電子カルテを導入していない。その整備を整えることで医師確保にもつながるのでは。</p>	<p>・非常勤医師の中にも常勤への声掛けしている方もいるが難しい現況である。 医師確保に向けても、働き方改革も含めて、働く環境の整備は必要である。 電子カルテについては、国の方針ですべての病院で導入することとしているので、高原病院でも導入していかなければならないと考えている。</p>	町長
出口	<p>・常勤医師が3人以上必要というのは、56床あるから3人以上必要なのか。 組織内で話した上で3人必要となったのか。</p>	<p>・常勤医師3名が理想というのは、病院運営には3名以上の常勤医師が必要と定められているから。</p>	統括主監
出口	<p>・65歳以上の年に一回の健康診断について、町外の病院も一緒に掲載されたものが一覧で配布されているが、町内の病院に指定して案内はできないのか。 都城は指定されてくると聞いた。 町内の皆が高原病院で受診すれば、多少なり経営の足しになるのではないか。</p>	<p>・人間ドックについては、今年から西諸地域の病院で受診できるように変わった。 それ以外に特定健診、長寿健診、わけもん健診を行っているが、特定健診と長寿健診の個別健診については小林市、えびの市、高原町で協議し、受診できる病院、条件等を決めたくうえで、西諸医師会と契約をしている。 そのため高原病院だけに指定することは難しい。 可能であれば、町民自らが、高原病院に相談し、高原病院で受診してもらいたい。</p>	健康課長

◆病院関係

区名	質問・意見等	回答	
出口	<p>・病院医師について、今年の4月に辞めているが、それ以前には分かっていたのか。 4月以降、5か月ほど経っているが、経費は常勤医師3人体制の時と変わらないのではないのか。 常勤医師が1人になったのであれば、患者受け入れ数も減っていると思うが、常勤医師3人の時の体制と変わらないままで、職員等の経費を捻出できるのか。 早めに決断をしないと、損失が大きくなるのではないのか。</p>	<p>・医師について、2人の常勤医師が令和5年3月に退職している。 1人は定年退職。 もう1人は、個人の事情によるもので、意向を尊重せざるを得なかった。 常勤医師は1人であるが、非常勤医師によりこれまでと変わらない体制をとっている。 非常勤医師も診療にあたっているため収益は同じで、常勤医師が1人になったから、経費に損失が出ているということはない。 1人の常勤医師で問題があるのは、その医師に何かあった場合に、管理ができなくなるという点で、まずは常勤医師2人以上の体制にしたい。</p>	町長
出口	<p>・今のところ、来ていただける見込みはないのか。 交渉相手はあるのか。</p>	<p>・現在、接触している医師はいる。</p>	町長
常盤台	<p>・病院が何年間も赤字だったのを、もう少し早く対応できなかったのか。</p>	<p>・公立病院として昭和25年に開設し、町民の身近な病院として、不採算診療科目を担ったり、コロナ禍の対応を行う公的役割を果たしてきた。 常勤医師が1人になった機会をもって今回検討に至った次第。</p>	町長
常盤台	<p>・町立病院で入院ができなくなると搬送される人たちは今後どうなるか。 高原町内で通院するのと小林に通院するのは経済的負担が全然違うため、病床を残してほしい。</p>	<p>・常勤医師1人体制が続くようであれば（10月ごろまでに追加医師確保ができなければ）病床休止と伝えたが、現在医師確保に努めているところである。</p>	町長
常盤台	<p>・病院職員が事務職になっても、その職員ができる仕事はないのではないのか。 そういう人たちは解雇して、自分達の職に就いてもらった方がいいのではないのか。 また今回の報道で、病院職員が知る前にマスコミが先に知ることについて病院職員の気持ちになってみては。</p>	<p>・運営形態を見直すと病院職員にも影響が出るため、病院職員にも説明会を実施し、アンケートをとったりしてきた。 職員自身の意思を尊重していきたい。</p>	町長
湯之元	<p>・病院の利用者が減少した要因は。</p>	<p>・要因は様々であり、1つは安定的な医師の確保、制度等の変更、町民からの病院の評価など。</p>	町長
湯之元	<p>・医師確保のための取組は。 今後、1人暮らしの人たちはどうすればよいのか。</p>	<p>・これまで鹿児島大学に協力をもらっているため今後も協力を要請する。 県にも西諸地域への派遣をお願いしている。 その他、町内にゆかりのある方に交渉していく。 今後かかりつけとしての医療機関としての機能は残していく。</p>	町長

◆病院関係

区名	質問・意見等	回答	
湯之元	・病床稼働率は。	・入院を増やしていくのは非常に大事である。 病床がなくなれば、救急は受け入れられなくなる。 病床稼働率 令和4年 42.2人 1日あたり23.8人	町長
湯之元	・2次救急の受入れ数は。	・救急約140 受入れ 40	統括主監
湯之元	・今後の2次救急をどのように考えているのか。	・まずは常勤医師の確保に取組み状況改善をしていきたい。	町長
湯之元	・人間ドック等で使用していた医療機器はどうなっているか。 使用していないのはもったいないのでは。 乳がん検査の機器どうなっているのか。	・今もある。 使用しているものは頻度はへっているが使用している。 機器の更新は今後の動きを考慮していきたい。	町長 統括主監
湯之元	・どのような機器があるか、事務員等が何人いるかなど、周知したほうがよいと思う。		
中平	・平成25年から令和4年に患者数、入院数が半分になっているが、病院のスタッフの数の変動は。	・現在56床あり、外来、救急を行うに当たり職員数はほぼ変わっていない。	町長
中平	・令和5年の人件費が令和6年に2億円ほど増えているのは何かあるのか。	・病院の運営体制の変更により、職員を庁舎へ受け入れた場合を想定した、一般会計の人件費の増額である。	町長
中平	・病院の運営体制を縮小したときに病院職員の行先は。	・病院の運営体制を変更した場合病院職員の削減も出てくる。 職員に向けても説明会を実施している。 一人一人の意向に任せる。	町長
中平	・56床あるからスタッフがある程度必要なのはわかる。 患者数、入院数が減っている中で、病床数についても実態に合わせ減らすべきではなかったのか。 なぜ、ここまで放置していたのか。	・ご指摘の通り、対応ができていなかったと認める。 看護師の配置の基準がある。 56床数あった場合の人数が現在の職員数である。 病床数の削減については、その都度判断していればよかった。	町長 統括主監
中平	・56床に対して看護師数がそれだけいるというのは分かっている。 56床を残している必要があったのか。 費用対効果などを検証せず、放置していたのではないのか。	・早く手が付けられなかったのは認める。 救急受け入れ、コロナ患者受け入れ等の公立病院における役割を担ってきた部分もある。	町長
中平	・一昨年前に10名ほど新規採用職員を雇っていたが、その時に病院職員を移すべきだったのでは。 現状の把握、将来の検討など全てにおいて対応が遅いのでは。 傍観しているように思える。	・これまでできていなかった、やらなかったのは事実である。 今回説明している内容で、来年度以降の運営体制について大きく変えていく。	町長

◆病院関係

区名	質問・意見等	回答	
中平	・人口は10%しか減っていないのに、患者数は50%減っているのは他に要因があったのでは。 その要因の追及、対応もできていないのでは。	・患者数減少の要因は人口減少だけの要因ではないと私も考える。 町民の声、評価は私も伺っている。 病院内部の改革についても努力しているが、現状としては、患者数、入院数共に減少している状況である。	町長
中平	・救急患者の受け入れが公立病院の役割という割に、地域で一番救急受け入れを行っていないと聞いた。 それが、患者数減少に関係しているのでは。	・救急受け入れについては、以前はそのような現状であったが、現在は努力し受け入れ率は上がってきている。	町長
中平	・人間ドッグで高原病院にお世話になっている。 高原病院が続いていくことを願っている。 医師確保について、高原町出身の医師等はいないのか。	・高原町出身や縁のある方への接触は現在行っている。 もし、町民の皆さんで知り合いの医師がいれば紹介願いたい。	町長
中平	・診療所、クリニックなどの手段もあるが、指定管理としての運営はできないのか。	・現在は指定管理については考えていない。	町長
全地区1	・町立病院の件で、人口減は関係ないと思う。 町立病院が悪くなった根本的な原因はなんなのか？ 人口減より外来減のほうが原因と思う。 人件費も上がっていると思う。 はっきりとした原因が知りたい。	・人口減は一つの原因となるもの。 現在の56床の体制において、継続維持することによる影響などの見通しができていなかった。 町民の方々の意見・評価に基づく病院運営への反映ができていなかった。 医師の確保が安定的にできていなかった。	町長
全地区1	・7/14新聞記事に出ていた医師の退職理由（自己都合退職など）は虚偽と思う、ある医師がいた時は良かったが、なぜ辞めさせたのか？	・新聞記事の件について、医師が退職する理由について、それぞれの意思を尊重した結果である。	町長
全地区1	・町立病院のことについて、色々な人から話を聞くが、良いことは聞かない。 実際サービスも悪い。 規模を縮小するにしても、今後も赤字は必然。 そんな中、現在の病院建設に掛かった費用（借金）については返せる見込みはあるのか？ 10月までに医師が見つかる可能性はあるのか？	・町立病院の評価・評判の声は確かに聞いている。 内部改善を試みてきたが抜本的改善には繋がらなかった。 病院を建てた時に掛かった経費については起債などにより、毎年5千万ほど返している。 10月までの医師確保については、鹿児島大学、西諸医療圏、高原町に縁のある医師を探すように努めている。	町長
全地区2	・医師確保の見通しを教えて欲しい。	・宮崎県、鹿児島大学、西諸医師会、高原町ゆかりの医師へ要望活動を行っている。 継続して取り組んでいきたい。	町長
全地区2	・病院赤字の内訳を教えて欲しい。 患者減の動向がみえてい中でなぜ対策ができなかったのか。 人件費が収支を圧迫していたのではないのか。	・ご指摘の通り人件費が大きな要因である。 病床数を維持するために看護師配置基準等があり、入院患者数に対して人件費が高くなっていた面はあると考える。	町長

◆病院関係

区名	質問・意見等	回答
全地区 2	<p>・医師確保が問題となっているが、これまでにどれだけ尽力されたのか。                      高齢者にとっては、近所に病院があるのは助かる。簡単に診療科を減らす等の規模縮小を進められては困る。                      命と健康を守るインフラである。                      資料からH29年が病院の転換期のように感じるが、町長交代ともタイミングが一致しているように思う。                      高妻町政の実績としてどう感じているか。</p>	<p>・町民の健康や福祉は大事だと考えており、病院の患者数減少や経営悪化については責任を感じている。                      診療活動を継続していくために、どのような方法が最適か真摯に考えていきたい。</p>

町長

◆学校関係

区名	質問・意見等	回答	
上後川内	・高原小と高原中も10年後には今より古くなるが、建て替えはしないのか？	・役場、保育所などの老朽している建物はあるが、学校建設を優先しなかったが、困難となった。	町長
上後川内	・統合後の旧校舎の維持管理は。	・活用について地域の声も聞きながら検討。	町長
上後川内	・学校統合による財政面でのメリットは。	・学校管理費、教育振興費など、6校分が2校分になるので費用は下がる。 スクールバスの運行で地方交付税が出る。 約6千万円のお金は浮くのでは。 ただ統合により経費を浮かすことが統合の理由ではない。	
上後川内	・仮に助成金がなくなった場合にスクールバスが運行されなくなることはないのか？	・運営補助金は普通交付税で措置されているので無くなることはない。 今時点で7台が必要と見込み、後川内は2台の予定。	総務課長
下後川内	・現在、東原の子供が増えているが、学校統廃合後はスクールバスの運用が始まると思うが、スクールバスの停留所の場所によっては、子供の歩く距離が少なくなり、健康づくりや体力づくりに繋がりにくいことが懸念される。 できれば、鍋倉停留所まで来てもらえれば助かる。	・詳細については、これから計画を立て考えていくが、1番に子供たちの安心・安全を踏まえて検討していきたい。	教育長
下後川内	・子供たちがいなくなった後の校舎の管理はどうか。	・令和8年度に向けての学校統廃合に向けて、教育委員会を中心に地域の衰退にならないように、地域の方々の意見を伺いながら検討していきたい。	町長
下後川内	・令和8年度までに学校統廃合するメリットは何か。	・子供たちの将来的自立を目指すために、より多くの集団的行動の中で、子供たちを学ばせることは、お互いを尊重したり、協力したりする機会を増やせ、思考力や問題解決力を付けていけるものと考えている。 また、小規模校における複式学級の中で、専門性のある教職員の人数が少なくなるよりも、統廃合による教職員数の充実を図ることが、子供たちへのきめ細やかな指導に繋がる、統合をするという考えである。 ・学校規模適正化委員会による計画に基づくもの。	教育長 町長
下後川内	・学校の新規建設をしないのであれば、現在の学校を利用しないのは何故か。 統廃合ありきで考えているだけで、既存の学校を残す考えがないのは何故か。 地域への影響などを踏まえた議論が足りないのではないのか。	・教育委員会(R3年度策定)の中で決まった統廃合の方針形については維持する。 保護者の方々の統廃合への捉え方は一定の理解を得ている。 地域への影響は十分説明をさせてもらう。	町長
下後川内	・スクールバスの運用費はどのくらいを見込んでいるのか。	・統合後は7台必要となる。 運用費については、1年間で約3570万円となる。 ただし、交付税補填が可能となる。	総務課長

◆学校関係

区名	質問・意見等	回答	
下後川内	・スクールバス運用の中での安全規定等は作られるのか。安全装置などは。	・詳細はこれから検討するが、安心安全は必須なので、安全装置等含めては検討する。	教育長
西広原	・新校舎計画を中断したのは英断である。 「中止」でなく「中断」であるため、今後も子どもたちにいい環境で教育をしてもらいたい。	・新校舎計画中断は、財政的な理由でなつたとご理解いただきたい。 現状、新校舎をR7に建設することが困難であり、その先については説明できる状況にない。	町長
西広原	・町議会では当初から財政面が厳しい見方があったが、町では建設前提の検討が進んでいた。 これについてどのように考えるか？	・見通しはその時その時で変動する。 公共施設建替等規模の大きいハード事業が控えており、小学校建設については、本年度に入ってから、収支見通しをみて不可能と判断した。	町長
西広原	・2019年12月議会の町長答弁によると、庁舎耐震工事をするとアスベストで費用がかさむため、建て替えをすること。 緊急事態対応を優先し、小学校建設より庁舎建設を先にすべきではないか。 庁舎建設、小学校建設は並行してほしい。 並行できなければ新しい校舎を建てるまで統合しない方がいい。	・町長就任時には庁舎建設の計画が進んでいたが、その後計画を変更した。 学校、保育所、中央公民館等も検討しなければならない中で、子供たちの学ぶ環境を優先すべきと考えて、このような判断をした。 主な公共施設の中で小学校を優先するが、並行して庁舎建設の計画を行う。 ただし、今は財政の裏付けができていないため、財政の立て直しを図りたい。	町長
西広原	・新聞に「町民の意見を聞いて判断したい」とある。	・保護者説明会においても、概ねの理解を得ている。	町長
西広原	・今回の報告会が終わったら、自分たちの思うように、統合ありきで進めるのは問題。	・町政報告会での様々な意見を伺ったうえで、ご理解を得るような形で判断したい。	町長
西広原	・今回の報告会での意見の掌握の仕方は。	・様々な意見があるため、現在どのようにとりまとめるかは未定。	町長
西広原	・アンケートを実施すれば意見を聞いたとなると思うが。	・意見を尊重していきたい。	町長
西広原	・広原小、狭野小、後川内小より小規模の小学校が県下にそれぞれ47校、38校、28校ある。 小規模でもうまくやっている小学校があるのに、この財政難の中、なぜ統廃合を急ぐのか。 財政再建の後に、急がずに統廃合してほしい。 (上記以外の、発言者の統合反対の理由) ・統合により、広原の地域性が薄くなる。 これは後戻りできない。 ・人口増対策をしても、小学校が6キロ離れていれば、広原に住みたいと思わない。 6月15日の議会答弁で、高原町の子どもたちの学力は令和元年～4年統計で上向きになっている。	・子供たちにとってよりよい環境を目指している点は同じ。 子どもが社会で自立できるようになるためには、ある程度の集団の中で意見を認め合ったり、切磋琢磨したり、問題解決する能力を育むことが大切。 複式学級では、1人の先生が2学年を受け持つ。 広原小の新生はR6→4人、R7→1人の予定で、R7には全学年で複式学級となる。 複式学級で人数が少なくなりすぎると、教育効果が期待できない、又は制限されてしまう。 統合時期については、R2に方針を出してから5年の準備期間を既に設けている状態。	教育長

◆学校関係

区名	質問・意見等	回答	
西広原	<ul style="list-style-type: none"> <li>「学校の適正規模は地域が決める」とある。12→18学級にすれば補助金がでるため、補助金ありきの統合ではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広原小の学力は落ちていない。12→18学級については、国の標準では、地域に特別の事情である場合はその限りではないとある。これは町内ではギリギリ高原小学校のみが満たしている。学級数が減るだけでなく、子どもの人数減により集団の中で社会的自立を育むことができない。</li> </ul>	教育長
西広原	<ul style="list-style-type: none"> <li>統合に反対した人は協議メンバーから外して物事を進めているのではないか。統合について、保護者は知っているが地域の人知らない。一貫教育の環境ができないのであれば、地域が見守って地元の小学校を維持していく。</li> </ul>		
西広原	<ul style="list-style-type: none"> <li>送迎用のバスが必要であるが、その管理費をどうするか。財政赤字の中で、病院をゼロ、看護師には退職してもらって、町は学校の維持管理費を負担するのみで現状維持を希望する。</li> </ul>		
西広原	<ul style="list-style-type: none"> <li>WHOは、小学校は100人以下の規模が望ましいと言っている。複式になっても広原小の学力レベルの維持ができていないのではないか。</li> </ul>		
西広原	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校の統合は子どもをダメにするのではないか。スクールバス送迎は朝夕各1回ということはありません。待つところには、屋根、照明、横断歩道等の環境を整えるのが当然。真剣に考えてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スクールバスは、今のところ7台の運営で、詳細は今後検討を行う。帰りの時間を複数にするなどは今後検討して、保護者、子供の負担がかからないようにする。子供の安全が一番。</li> </ul>	教育長
西広原	<p>(教育長の「今後検討する」に対しての御意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>まず全て計画して示すのが先ではないか。現在も広原小の女の子は雨の日など保護者が送迎しているが、高原小であれば距離が長くなり保護者の負担が増える。これから検討というのはおかしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回の報告会は、財政上R7の新校舎建設ができなくなったこと、適正化方針にあるようにR8に統合する方向で進めていきたいということについて、意見を伺う機会。具体的なことは、準備委員会等で様々な方の意見を聞きながら進めていき、町民の皆様に報告する。今日の段階では説明はできない。</li> </ul>	町長
西広原	<p>(町長の「町民の皆様に報告する」に対して)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>また今日のような場(報告会)を設けるといことですね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町民の皆様に報告します。</li> </ul>	町長

◆学校関係

区名	質問・意見等	回答	
西広原	<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備委員会は統合を前提にしている。私たちは今、統合を延長しましょうと言っているのに、統合ありきとなっている。また統合について検討しましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討すべき点は検討する。教育委員会が令和8年に統合すると示している。</li> </ul>	町長
西広原	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広原小学校には歴史があって今までやってきた。PTAだけの話でまとめるのはおかしい。統廃合ありきではこの報告会には参加しなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この町政報告会は考え方を説明する場であり、統合の是非についてこの場で判断することはできない。西広原区の出席者ではこのようなご意見が多いということを受け止めた。</li> </ul>	町長
上広原	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校統合の問題について、一番古い高原小に統合されるということで耐震性について強い懸念を持っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高原小については、耐震化を実施している。</li> </ul>	町長
上広原	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統合後は、スクールバス9台での送迎運行を計画していると聞いたが、校区が広範囲となることで路線が多岐に渡り、細やかな対応が困難になると想像している。結果として親の負担が増えるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まずは、スクールバス7台で運行を計画しているので認識の訂正をお願いします。学校の時間割を調整し、下校送迎は2回実施するように計画している。学校行事によって臨機応変な対応が必要となることは認識しており、詳細については、子どもの安全を優先で検討していく。</li> </ul>	教育長
上広原	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内での不審者の目撃は耳にするが、被害届は出せない。(地域が狭いので、誰のことか特定されるから)学校統合から発生する問題だけでなく、そのような現状があることも認識していただき、子どもの安全第一で町政運営をお願いしたい。</li> </ul>		
上広原	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営費が膨大な町立病院を閉鎖し老朽化が進む役場庁舎としての活用を希望する。学校統合には、宮日新聞に6千万が必要とあった。また、広原小が存続する方が、子ども達にとっても良いと考えるため学校統合には反対。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校統合の費用が6千万というのは、再確認したい。</li> <li>・高原町が破綻するということではないということは繰り返し強調したい。</li> </ul>	町長
下広原	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールバスの予算はあるのか。学校の耐震化については。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールバスについては小中学校を統合した場合、7台必要となる。子供たちの安全性を最優先にして準備していく。高原小学校の校舎は耐震工事が終わっているため安全性は確保されている。スクールバスの件については、現在常盤台で1台使用している。その他に、6台が必要になるとして試算している。スクールバス運用の詳細については、安全性を第一に考えて、検討していく。</li> </ul>	町長 教育長

◆学校関係

区名	質問・意見等	回答	
下広原	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の統合に関しては、当初、校舎を新設することであったが、財政状況の悪化を理由に高原小学校を利用することに変更したが、財政見通しの甘さがあったのでは。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校統合の校舎新設について、財政見通しの甘さがあったことを認める。 新設を楽しみにしていた生徒や保護者もいたと思うが、現在の財政状況では困難と判断した。</li> <li>・学校統合だけでなく病院問題も含め、まずは財政の立て直しに取り組みなければならないと思っている。 行財政改革を進め、歳入の確保、経費の削減を行っていかなければならない。</li> </ul>	町長
北狭野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一貫校になるとクラスの人数が増えるが、事故が起きやすくないか。 先生の配置数等も定まっているのか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高原小学校の耐震は完了済。 校舎の安全は守られている。 スクールバスは7台で運行する。</li> <li>・1年生は30人、3年生以上は35人までが法令で決まっている。 およそクラス25～30名になる予想</li> </ul>	町長 教育長
南狭野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校の統合について、現高原中学校の隣に小学校を建設して、連携を取りながら小中一貫教育を行うことが望ましいと思うので、やはり小中学校が近くにあればよいと考えるが。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財政状況を見通した場合、学校建屋の建設を含めた小中学校統合は無理である。</li> <li>・現在の高原小学校に町内小学校を統合し、高原中学校に町内中学校を統合することが、これからの統廃合の動きとなってくる。 例え小中学校が離れていても、小中一貫教育はできる。</li> </ul>	町長 教育長
祓川	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校跡地問題は先のことだが、記念碑、記念樹もなくしてしまうのか。 委員会で検討してほしいという要望。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校跡地の活用については、地域の方からもご意見をもらっており、検討を進めていかないといけない。 まずは地域の皆様と議論を深めて、地域の活性化に貢献できるようにしていかなければならないので、今後検討していきたい。</li> </ul>	町長
小塚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校統廃合に関して教室不足の問題を耳にしたが、どのような状況か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校については問題ない。 中学校は、令和8年の1年生のみ3学級と増加する見込みだが対応できる。</li> </ul>	教育長
小塚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の登下校対策について教えて欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールバス7台で送迎し、通学対応する計画である。</li> </ul>	教育長
花堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回学校建設の話が出た時になぜできなかったのか。 今のような状態になるのは予想できたはず。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子化を懸念してよりよい教育環境をと考え統合の方向で進めていきたい。</li> </ul>	町長
上麓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校統廃合による、廃校の跡地利用について、現段階の考えは。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の方針が決定すると、跡地利用についても検討していくことになる。 地元の方は、学校が無くなることへの不安（寂しくなる、人口減に影響がある）があるため、地域活性化につながるように、地元の方と時間をかけて話をしていきたい。</li> </ul>	町長

◆学校関係

区名	質問・意見等	回答	
下麓	・学校の耐震補強はどうなっている。	・高原小学校、中学校それぞれで補強工事は終わっている。	町長
下麓	・学校のトイレも、子供が気持ちよく使えるようにしてほしい。(小学校)	・必要な改修を行っていく。 洋式化も順次進めている。	町長
鹿児島	・令和8年度までに小中学校を統合する話だが、早めることはできないのか。	・令和3年度に方針が決まり、5年間の準備期間と定めたため、早めることは考えていない。	町長
出口	・小学校は高原小学校の場所で統合するということだが、以前の説明で、いずれは小中学校を一貫校にしたいと聞いた。 その時には、また学校名や校章、校歌を決めるのか。 財政的に大丈夫なのか。 統合にあたっては、PTAの改選、規約等を再編する必要がある。 各校区のPTAが集まる必要があると思うので、その時間を作ってほしい。	・建設ができないので、4つの小学校が現在の高原小学校、2つの中学校が現在の高原中学校を利用し統合する。 その小・中学校を小中一貫教育校として運営する。 学校名や校歌も新しくなるが、その状況でしばらく運営する。 PTAの組織についても新しくなるので、意見をいただいた通り、話し合いの機会を設ける。	教育長
出口	・現在の中学校校舎は昔4クラスあった時に建てられたもの。 空き教室等が使えるのでは。 そこに小学生を入れて、1年生から9年生までの一貫学校にしてはどうなのか。	・現在、3学年の4クラスで12クラスの教室がある。 現在、6クラスの教室を使用しており、6クラスは空いているが、授業の形態として、少人数授業等も行っているため、6クラス全てが完全な空き教室ではない。 最初の計画では、高原中学校の空き教室も活用し、不足分を増設して、併設型の小中一貫教育校を建設する予定であった。 その建設ができなくなったため、小学校は高原小学校を活用する。 9年生までの義務教育学校という形態は、校舎が分かれることによりできない。 しばらくの間は、現高原小学校と現高原中学校の校舎で小中一貫教育を進めていく。	教育長
常盤台	・孫が高原小にいる。 校舎の耐震化が小学校はできているのか。	・高原小の耐震工事は終わっており、安全性は確保されている。	教育長
中平	・学校の統廃合後の、残った学校の利活用については、どのように決めていくのか。	・学校の跡地利用については、地域の皆さんの声を聞きながら、どのように地域の活性化に活用できるか検討していかなければならない。	町長

◆学校関係

区名	質問・意見等	回答	
中平	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校のあり方委員会の公募で、作文を書き選ばれて参加した。</li> <li>いろいろな意見を述べたが、一つも採用されていない。</li> <li>その時に述べたが、統合についてはもっと早くできたのでは。</li> <li>また、学校建設は必要なく、学校の内容見直しに費用をかけるべきと述べた。</li> <li>結局、学校建設で話が進んだかと思えば、現況は当時私が述べた意見のおりとなっている。</li> <li>2年前に予想ができたことではないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の財政収支見通しにより、令和7年度の建設は困難と判断した。</li> </ul>	町長
中平	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町長は答申が出たから、当時の計画にしたと言うが、町長の意思はなかったということか。</li> <li>町長はこうなることが分かっていたが、答申のおりに動いたということか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当時の段階では、答申の内容が妥当だと判断をした。</li> <li>財政の将来的な見通しについて、もっと以前に精査をしなければいけなかったと思う。</li> <li>そのことについて、責任を感じている。</li> <li>そのため、現状を説明し、皆さんに理解をもらいながら進めていく場を設けた。</li> </ul>	町長
全地区1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校を建設するにあたってはどういった見通しを持っていたのか。</li> <li>また、どういう財源を見込んで建設が可能だと考えていたのか。</li> <li>なぜ建設が不可能だと判断したのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校統廃合に向けた新校舎建設に向けて動いていたが、本町の今後10年間の財政収支を見通した場合、断念することとなった。</li> </ul>	町長
全地区2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財政が好転すれば学校建替えの見通しはあるのか。</li> <li>また、難しい場合、学校老朽化に対する対策は。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現時点では、言及が困難。</li> <li>まずは、直面している財政課題の解決に注力したい。</li> <li>既存校舎の耐震工事は完了している。</li> <li>必要な対策については、適宜、実施していきたい。</li> </ul>	町長

◆財政関係

区名	質問・意見等	回答	
上後川内	・退職延長を視野に入れて人件費を計上しているのか。	・来年から公務員も定年延長する。 人件費をどのように削減していくかを考えていく。 若い人の採用が減ることも想定している。 人件費削減のために退職勧奨もしている。	町長
上後川内	・なぜ人件費が増えているのか。	・仮に休床した場合、病院職員を役場職員へ配置転換した場合を想定しているため。	町長
西広原	・突然財政調整基金の枯渇について、いかにも役場の幹部会で初めて判明したような新聞記事になっている。これでいいのか。	・財政調整基金が底をつくことがあってはならないため、本年度から7つの目標(歳入確保、歳出削減)で財政健全化を進める。	町長
西広原	・財政見通しについて、財政運営レベルが緑→黄→オレンジとなっているが、本来ずっと緑であるべきで、そのために大胆な合理化、見直し(必要不要の仕分け)が必要。教育環境を手厚くするのであれば、他を切らなければならない。	・R4→R10見通しの2パターンをお示しした。 あらゆるものを全体的に見直し、行財政改革を具体的に進めないといけない。 行政サービスのレベルを維持するように努めるが、一部ではご負担いただくこともあるのではないかと思います。	町長
下広原	・最近、新聞等で厳しい状況が書かれており、中には破綻するのではと心配している方もいる。	・高原町が破綻するということは決してない。 そのためにも、行財政改革を進めていく。 町民の皆様にも住民サービスの縮小など負担をかけるとは思うが、十分な説明を行いながら進めていきたい。	町長
下広原	・行財政改革推進計画目標に向けての取組が7つ示されているが、具体的にはどのような取組を行うのか。	・具体的には、自主財源の確保ではふるさと納税の推進、町有財産(町有林、土地、建物)で使われていないものを売却し財源を確保していきたい。 人件費の削減では時間外手当の削減や退職勧奨、新規採用職員の抑制などを行っていく。 また、事務事業の点検と見直しとして、補助金、各事業について、必要性、事業効果、費用対効果を検証しながら取捨選択していく必要がある。 その他、職員ができることは自分たちで行い、経費の削減を図りたい。	町長
北狭野	・マスコミに大きく掲載されていて不安になる。報道への内容はどのような決まりがあるのか？	・町の現状だと考えているのでマスコミに掲載されるのは致し方ない。 ただ財政破綻になることはない。 町へ移り住む、来てもらえる魅力を伝えていきたいと思う。	町長
北狭野	・財政が厳しいと民間では人件費を削ると思う。町の人件費が減らないのなぜ。	・病院職員を役場へ配置転換することを想定して人件費を見込んでいる。 その都度数字を更新していく。	町長
南狭野	・財政逼迫の話はいつ、誰が、町長に提言したのか。	・様々な部署の職員から提言を受けた。	町長

◆財政関係

区名	質問・意見等	回答	
祓川	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人件費削減について、町長以下の給与削減議案を提出し否決された。</li> <li>町議にはこういう場に出席してほしい。</li> <li>地域住民に説明してほしい。</li> <li>自ら身を切つてというのを町議にも示してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・否決については、議会にもっとわかりやすく説明できなかったかと反省している。</li> <li>他の人件費については、早期退職者募集、超過勤務手当削減、各種手当の削減などに取り組んでいる。</li> </ul>	町長
小塚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人件費削減はどの程度を考えているのか。</li> <li>町三役の給与削減案は否決されたと聞いた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行財政改革を柱に進めるつもり。</li> <li>町三役の給与削減については、現状の削減に上乗せする形で提案したが否決された。</li> <li>否決理由については、答弁はできない。</li> </ul>	町長
花堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の交付金等をしっかり活用すれば収支のバランスはとれると思うが、赤字額が現在標準財政規模の何パーセントになっているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在赤字にはなっていない。</li> <li>財政破綻にならないように、病院の財政改善等に努めた</li> </ul>	町長
花堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町長等の給与について議会で否決された理由。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理由は私が答えることではない。</li> </ul>	町長
上麓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4次行財政改革計画の具体的な取組みを町民に分かるようにHPや広報で知らせてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4次行財政改革計画を現在策定中で、財政面、行政内部（事務事業）の効率化、経費の節減を定めていく。</li> <li>議会でもこれらの説明をしており、策定したら概要を町民の皆様に説明できるようにしていきたい。</li> </ul>	町長
上麓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料内の第4次行財政改革計画見通しの目標④人件費削減について、R5→R6に人件費歳出額が約2億円増加しているが、町の考え方は。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人件費が約2億円増えた理由は、病床を休床した場合に、病院職員の削減により、病院会計で支出する人件費を一般会計で支出する場合の見込みとして計上している。</li> <li>人件費の削減については、超過勤務手当の計画的削減、様々な特殊勤務手当の見直しなど、あらゆる面から見直し、削減を図っていく。</li> </ul>	町長
上麓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年前に高原町に帰ってきた。</li> <li>財政収支見通しの歳出欄で大きな割合を占める、投資的経費、物件費、補助費は具体的にどういう費用をいうのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・投資的経費は公共事業のインフラ、資産形成。</li> <li>主に建設事業に向けられる経費。</li> <li>物件費は主に委託料（電算システム、給付システム構築、庁舎管理）。</li> <li>町職員でできないので業者にしてもらうもの。</li> <li>補助費は補助金、一部事務組合（西諸広域＝消防業務）負担金。</li> </ul>	総務課長
下麓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財政難である以上、適正に早く判断していくことが必要では。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早急に判断していく考え。</li> </ul>	町長
下麓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財政収支見通しにおいて、歳入のその他の部分がR4からR5に減少しているのはなぜ？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと納税等の歳入を考えている。</li> </ul>	町長

◆財政関係

区名	質問・意見等	回答	
並木	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料について、令和5年の国・県庫支出金が減額となる原因を教えて欲しい。 (10年ほど前に質問した際に、概ね人口比に応じて地方交付税が交付されると聞いた。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナ対策のため各支出金の増額があった。地方交付税の増減については、様々な要因で変動するので一概に見通しを語るができない。 将来の収支予測を作成するにあたっては、シビアに予測していく。</li> </ul>	町長
並木	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村合併という選択肢は今もあるのか。合併補助金というのはあるのか。個人的には合併しないと将来が心配。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特例債付きで国が合併を推進していたが、今後、同様の取組が実施される見込みは薄い。 市町村合併の意向はない。 医療にとどまらず西諸圏域で様々な取り組みを協働する動きがある。</li> </ul>	町長
出口	<ul style="list-style-type: none"> <li>町の財政状況について、宮日新聞で初めて知った。なぜ、宮日新聞だけ先に報じたのか。プレスリリースは町が行ったのか。また、この財政状況は以前から分かっていたものであり、コロナ禍とはいえ、報告の仕方などで、もっと早い段階で情報提供できたのではないか。 町立病院が救急受け入れやコロナ患者の受け入れ、施設の嘱託医などを行っているが、今後、他の病院が受け入れてくれるか検討したうえで縮小などの方向性を示しているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮日新聞は、この件に関して議会等も含め以前から取材、聞き取りを続けていたため、最初に掲載をされたのだと思う。 住民に対する説明は早くすべきであったが、コロナ禍により2回ほど計画が延期となって、今回の開催となった。 病院については、今後の運営形態を決定していく中で、救急受け入れも大きな判断の材料にはなってくる。 訪問看護などについても検討させてもらう。</li> </ul>	町長
出口	<ul style="list-style-type: none"> <li>財政収支の見通しで、今年約60億が計上されているが、収入の確保はできているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>予算を組むときに、歳入がないと歳出は組めない。歳入は基金を当てている。</li> </ul>	町長
常盤台	<ul style="list-style-type: none"> <li>町長たちの減給の議案をなぜ否決されたのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>議員の判断であるため、お答えできない。</li> </ul>	町長
常盤台	<ul style="list-style-type: none"> <li>町政座談会対応の職員の残業代は。町長をはじめ役場職員、町議、皆負担をすべきでは。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理職はもともと残業代が支給されない。 本日の対応職員では管理職でない4人だけが残業代が支給される。 人件費全体の削減については、行財政改革の中でも重要な問題であり、職員の超過勤務手当を計画的に削減、新規採用職員を抑制、様々な手当てを見直し、早期退職者の募集などに取り組んで人件費を削減していく。</li> </ul>	町長
常盤台	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の「財政収支見通し」で、令和6年度に人件費が増えているのは問題。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>病床を休床した場合、今まで病院会計で賄っていた病院職員の人件費を一般財源で賄うためにこのような金額となっている。</li> </ul>	町長
湯之元	<ul style="list-style-type: none"> <li>財政収支について、R5～R6が国庫支出金、県からのお金が減少しているのは。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>R5以前の金額は新型コロナウイルス関連の交付金で多くなっている。</li> </ul>	町長

◆財政関係

区名	質問・意見等	回答	
湯之元	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地方交付税が減少してきているが、今後人口も減ってきたら町政運営は困難ではないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人口は地方交付税を算定する数値になる。人口以外に国の政策だったり、災害や、新型コロナウイルス感染症等の影響を考慮して算定される。単純に人口だけではないが、減少していくことが予想される。</li> </ul>	町長
中平	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 先ほど挙げた運営体制のパターン別の財政シミュレーションを教えて欲しい。</li> <li>・ また、病院を無くした場合はどうなるのか教えて欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院を無くした場合は建物起債の償還、職員の処遇の中で、庁舎へ受け入れる方の一般会計への人件費の増額などがある。</li> <li>・ パターン別の財政シミュレーションは現在策定中である。</li> </ul>	町長
中平	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ パターン別の財政シミュレーションがないまま町民に判断を求めるのはおかしい。</li> <li>・ 早く決断しなければいけないのではないのか。</li> <li>・ 財政シミュレーションがまだなのはおかしいのでは。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回の町政報告会を受けて、方針を固めて、再度町民への説明の場を設ける。</li> <li>・ 財政シミュレーションも作成し、町民へ説明する。</li> </ul>	町長
全地区 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 財政難になると町民の負担が増えるということであるが、町民税はどうなるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 財政難に起因する町民税の負担（増額）は現状では考えていない。</li> <li>・ 一方、補助金等の減額などの町民の方々への負担はでてくる可能性があると思う。</li> </ul>	町長
全地区 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 財政収支について、人件費が令和5年度から増えているので教えて欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人件費が令和5年度から増えている理由は、病院の職員が配置転換した場合を想定し増えている。</li> </ul>	町長
全地区 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小林市との合併の時も町立病院が一つのテーマであった。</li> <li>・ その時は合併しなくてもやっていけるということであったが、それ以降財政運営において色々と厳しい状況が続いていると思われる。</li> <li>・ 今回の学校建設もしかり。</li> <li>・ 今後高原町は合併などしなくても自力で存続していくことは可能なのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ まずは財政健全化を第一に目指すことを考え、財政収支のバランスを整えながら行政運営を行っていく。</li> <li>・ 合併については考えていない。</li> </ul>	町長
全地区 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人件費抑制を対策として謳っておきながら、資料では人件費が増加しているがなぜか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前提として資料記載の会計と病院会計は異なる。</li> <li>・ 病院職員を役場職員として配置転換した分の人件費が増加している。</li> </ul>	町長

◆その他町政等

区名	質問・意見等	回答	
上後川内	・牛の導入資金の貸付問題は解決したのか。結果を知りたい。	・後日回答する。	町長
上後川内	・役場職員の採用を無くせば、町の若者は雇用の場がない。町の活性化のためにも新規採用はすべきで、上世代が辞めるべき。	・年齢平準化や技術職員を考えたとき、募集しないわけではない。	町長
上後川内	・道路がガタガタで側溝に蓋がないところも多い。ケガや命の問題もあるのでは。	・職員が分からない危険な箇所もあるので、教えてほしい。	町長
上後川内	・中入木道の復旧の見通しは。	・測量中。その後どういう工法にするかを検討する。ボーリング調査もする。国の災害査定を受けられる可能性もある。それから予算を付ける。来年の3月までには終わらせたいとは考えている。	建設水道課長
上後川内	・ふるさと納税の内訳は。	・例えば寄付額1億円の場合、50%以内が送料や宣伝広告料、サイト運営費、返礼品などの経費となる。経費は寄付額の50%以内とされている。1200万円(12%)を地域商社へ支出。残り38%が町の財源。	町長
下後川内	・ふるさと納税の売り出しチャンネルはいくつくらいあるのか。	・9つ開設している。	町長
下後川内	・最近県外ナンバーのトラックがよく来ているが、何を持ち込んでいるのか。周りの環境へ影響はないのか。	・ごみ運搬車両だと思われる。産業廃棄物の処理については、県の許可を得ている会社や業者なので大丈夫だと思われる。	町長
川平	・畜産農家へ貸し付けた回収はどうなっているか。	・後ほど回答する。	町長
川平	・高原町畜産共進会の日程の調整をしてほしい。実施時期はかなり忙しい。	・一旦持ち帰りたい。	町長
川平	・人口がかなり減っているが、人口減少に対する町の対策は。	・日本全体が減少傾向にある。人口減少の要因は様々ある。様々な社会の仕組みを考えないといけない。国の施策等で様々対策をしていく。また、若い人たちが残れるように、仕事の確保、教育環境の整備に取り組まないといけない。地域商社の取り組みとして関係人口、雇用人口増やす取り組みをしている。	町長
川平	・町の年間移住者の数は。	・移住定住世帯数 令和元年で11世帯ではある。	町長
川平	・今後10年でまた減ってくると町の財政にも影響してくると思う。	・雇用の確保、教育の整備等様々なことに取り組んでいかなければならない。	町長

◆その他町政等

区名	質問・意見等	回答	
川平	<p>・地域商社を設立して様々な情報発信をしてもらっているが、町の収入を増やすことが重要だと思う。 特産品を作って町の収入になっている事例がある。 高原ではそういうものはないのか。</p>	<p>・地域商社で特産品の開発をしている。 最近ではクラフトコーラを製作している。 今後も高原の資源をつかった製品開発をしていけたらと思う。</p>	町長
西広原	<p>・地域商社によるふるさと納税収入4.4億円のうち、1.7億円が町の収入。 この使い道は。 地域商社に係る経費5,000万円が必要か。 R3で2.2億が町に入るふるさと納税が、R4は1.7億円に減っているのではないのか。</p>	<p>・ふるさと納税収入の12%を地域商社に支出しており、これらは、人件費、動画作成経費、PR費等に充てられている。 町でやっていた業務を集中的、専門的にやっており、効果を上げていると考えている。 12%については町と商社の取り決めであり、商社としてもそれ以上とはならず、その中で運営しなければならない。</p>	町長
西広原	<p>(元民生委員としてのご意見) ・台風14号のとき、町は水の配布という重労働を民生委員に依頼した。 町は民生委員の意見を聞かないのに、ボランティアで務めている民生委員(高齢女性もいる)に対して、なぜそういう対応をさせるのか。 施設入所等の福祉情報も民生委員に提供されず、民生委員は何も知らないまま地域住民の安否確認に無駄足を運ばなければならない。 町と民生委員が協力、一体化してこそ、町からのお願いも聞けるようになる。 事業で、一人暮らしで動くのもままならない高齢者にとっては、布団の洗濯、クリーニングができず、注文が必要なのに、役場にその書類を取りに来いというのは高齢者のことを理解していない。</p>	<p>・ありがたいご意見。 台風14号飲料水配布について、町との連携がとれないことがあったということに反省。 今後は連携を密にしていきたい。 福祉課に高齢者あんしん係があるが、高齢者に安心していただきたいということ。 今後も職員の対応に心がけていきたい。</p>	町長
上広原	<p>・上広原多目的研修室近くの町営住宅について、順次拡大していくとの話を聞いていたが、実行されるのか。 応募者が少ないとのことだが、小林市の友人知人との会話では知らなかったという人が多い気がする。 広報に力を入れて欲しかった。</p>	<p>・応募者が少なかったため、現状のような状況となっている。 広報誌やHPでの周知を図ったが、より一層の発信力強化に努めたい。</p>	町長
上広原	<p>・グラウンドゴルフに集まる人の中では高原町が破綻するらしいとの話になっており高齢者は不安に思っている。 中間報告を行ってはどうか。 町民を安心させて欲しい。</p>	<p>・町民の間でそのような空気が流れているのは認識している。 ご意見にあった中間報告会の実施については検討する。</p>	町長

◆その他町政等

区名	質問・意見等	回答	
上広原	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後は、町の存続に期待が持てるというような報告をお願いしたい。</li> <li>国から補助金が打ち切れ町道や農道の改修が進まない。</li> <li>地域内には交通量が多い道路や災害のたびに補修を行う道路もあるため、そちらにも予算を組んで欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ご要望としてお受けする。</li> <li>高原町が破綻するということではないということは繰り返し強調したい。</li> </ul>	町長
上広原	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定年退職した人は年金が増えることはないが、社会環境の変化による物価上昇など家計支出は増えていく。</li> <li>国保料が上昇しないような町政運営をお願いしたい。</li> </ul>		
下広原	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ふるさと納税の寄付金額の内訳は。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 50%が運営費(返礼品代、返礼品送料、サイト運営費など。)、12%が地域商社の経費、38%が町の財源として入ることになる。</li> </ul>	町長
下広原	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまで報告会を行ってきた他の会場では、どのような質問が出て、どのような回答をしたのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨日まで5会場(後川内校区、広原校区)で行っている。</li> <li>町立病院、学校統合に関して様々な意見があった。</li> <li>町立病院については、残して欲しいという意見もあったが、財政状況を踏まえ、運営形態を変えていったほうがいいという意見も多く出た。</li> <li>また、こちらが示した経営体制の3パターン以外に、廃止にすべきとの意見も出た。</li> <li>学校の統合については、これまで保護者説明会を行ってきたが、地域の方の意見として、地域が衰退するので地域に学校を残して欲しいという意見が出た。</li> </ul>	町長
下広原	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町民が住みやすい街づくり、若い人が住みたくなるような町の活性化に向けての取組をお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行財政改革を行いながら、新たなまちづくりを進めていきたい。</li> </ul>	町長
下広原	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ それは町長一人では町政運営はできない。</li> <li>町の職員の力が必要である。</li> <li>病院職員でも、一生懸命頑張っている人もいれば、さぼっている職員もいる。</li> <li>また、タバコを吸いに外に出た職員がいて、戒告程度の処分で済んだと聞いた。</li> <li>町長は責任持ってやるだろうが職員はついてくるのか。</li> <li>他の市では農免道路の草刈りなどを、職員が直営で行っている。</li> <li>高原町ではやる気のある職員がいるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ご指摘については、私自身もそう感じている。</li> <li>町民の皆様これから様々なお願いをしていく中で、町の職員も、もっとしっかりしていかなければならない。</li> <li>今後、不祥事を出さないことはもちろんのこと、公務員として町のために何をすべきか真剣に考えていきたい。</li> <li>現在、職員でもできることをやっていこうと、庁舎内の清掃、役場周辺の草刈りを行っている。</li> <li>まずは、町民の皆様から認められるような職員になるため、様々な行動を起こし、出来ることを行っていきたい。</li> </ul>	町長

◆その他町政等

区名	質問・意見等	回答	
下広原	・高原町は、同規模の自治体に比べて、職員数、議員数が多いのか少ないのか。	・他の自治体と比べると若干多い。 議員数は現在10名であるが、そのことについて私から言及できない。	町長
下広原	・議員など、お金を使って先進地視察に行っている。 そのような人(OB含む。)などに意見を貰えばいいのでは。	・色々な方に相談したり、知恵をお借りしながら頑張っていきたい。	町長
下広原	・資料を見ると、令和7年には大規模災害対応不可の財政運営レベルになるが、近年の災害激甚化、また南海トラフ地震など、大規模災害の発生は十分考えられる。 今後の災害対策はどのように考えているのか。	・確かに、災害時に必要な財源は確保していかなければならない。 しかし、現状では、そこまで見込んだ財源の確保は厳しい状況である。	町長
北狭野	・ふるさと納税は水物では。 全国で一部辞めるような話も出ている。	・当面ふるさと納税は続くと考えている。 納税に頼らずに町税を増やすことも大事で、納税以外の部分でも財源確保できるようにする。 地域活性化のために引き続き事業を進めてほしいと思っている。	町長
北狭野	・廃校の活用はどうか。	・活用方法は地域住民との話し合いもしながら決定していきたい。	町長
北狭野	・商社の給与関係。 町の出向職員は何名。	・納税額12%を商社運営費に充てている。 自主事業(自分達で稼ぐ)も少しづつ伸びてきた。 納税が増えれば商社の財源も増える。 独立採算の運営をしている。 ・町からの出向者なし。	町長 産業創生課長
北狭野	・資料のホッチキスが大きいのではないかと。		
南狭野	・情報の開示について、役場職員などの給与など、行政の情報開示をしっかりとしてほしい。	・給与等については、広報で開示している。 その他、区長会やラインなどを通じて必要な情報開示を行っていく。	町長
南狭野	・税収の確保について、ふるさと納税だけではなく、観光・物産品なども力を入れていかなければならないがいかが考えるか。	・町税を増やしていくことは、人口減少や生産年齢人口の減少の観点から難しいが、観光などを通じた関係人口の創出や物産振興等を通して、町に入るお金(町税等)の確保を図っていきたい。 また、商工業誘致に努め、固定資産税の収入強化を図っていく。	町長
南狭野	・報告会のまとめの報告はいつ頃になるのか。	・町政座談会において賜った意見については、取りまとめを行い可能な限り早く報告する。	町長

◆その他町政等

区名	質問・意見等	回答	
南狭野	<p>・町民誰もが理解できるような情報開示をお願いしたい。 一例でいうと、条例などは改正などあった場合、どこが変わったのか分かりづらい。 また、今回の報告会にある大きな4つの課題について、今まで中々見えてこなかった。 こういうことも情報開示を徹底することで分かってくると思うので、是非、しっかりと情報開示をお願いしたい。</p>	<p>・今回の町政報告会など、一つの町民への情報開示の場なので、今後ともより分かりやすい内容で、情報発信に努めていきたい。 条例については改正などあった場合、ホームページの該当箇所を修正しているが、気になる条例について質問があれば役場に問い合わせさせていただきたい。</p>	町長
祓川	<p>・自宅の隣地の家に草がたくさん生えて困っているが、どうしたらいいか。 町から所有者に連絡がとれないか。</p>	<p>・空き家空き地が高原町内でも年々増えており管理が行き届かない現状がある。 地域商社では空き家を使って人を呼び込む対策をしており、現在1件が進行中。 個人の財産を町が直接管理することは難しい。 道路へ危険を及ぼす倒れかけの木などは町が対応している。 個別のご相談はお受けしたい。</p>	町長
祓川	<p>・地域商社の事務所は今後も今のままか、だれでも出入りする大きな場所に移したほうがいいのではと思う。</p>	<p>・医師住宅の空き家を活用しており、町民から活動が見えにくいという声があるので、移転の検討はしていたが、現時点では結論には至っていない。</p>	町長
祓川	<p>・病院が赤字だから町の財政が傾いたのか？もう少しかみ砕いて説明してほしい。 町議の数を減らすと歳出減になるのではないか。 町議へ報告会の内容を説明しているのか、町議も報告会に出席したほうがいいのではないか。</p>	<p>・医業収支がマイナスで、町から経営補助として赤字補填をしている。 これがないと他の事業に補填できていた。 つまり、一般会計を圧迫しており、町財政への影響がでている。 規模縮小に向けて運営形態を変えていく。 議会の件については、自分からは申し上げられないので、議会へは伝える。 町政報告会前に議員へは説明しており、議員も報告会に出席している。</p>	町長
小塚	<p>・増税や水道料金が上がる可能性はあるのか。</p>	<p>・増税はない。 住民サービスに係るもの（水道料金やインフラ等）も同様に影響を及ぼさないように努力する。</p>	町長

◆その他町政等

区名	質問・意見等	回答	
小塚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと納税のPRについて、マスメディアの活用や大使を採用するなどの強化が必要ではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・返礼品の種類を増やす。</li> <li>ふるさと納税サイトを強化する。</li> <li>イメージ戦略を強化する。</li> <li>以上のようなことを地域商社に取り組んでもらっている。</li> <li>また、観光大使については、複数名任命しPR活動を行ってもらっている。</li> </ul>	町長
小塚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイナンバーでのトラブル有無等の状況について教えてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8月18日時点では、問題発生は確認されていない。</li> </ul>	町長
小塚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットが利用できない人も、ふるさと納税が利用できるようにできないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙媒体での広報や現金での受付も行っている。</li> <li>いっそうの周知を図りたい。</li> </ul>	町長
小塚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと納税の返礼品を製造する公営の工場等が町内にあるのか。</li> <li>産業活性化につながるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、そのような施設はないが、視野に入れて取り組んでいる。</li> <li>なお、町内のフリーウェイ工業団地に、民間の肉加工場があり、ふるさと納税の商品の一翼を担ってもらっている。</li> <li>令和5年度よりたかはるPR係を組織しPR強化に努めている。</li> </ul>	町長
蒲牟田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最近のニュースなどでは、あまり高原町の良いことが取り上げられないと感じるが、今後の高原町を変えていくために、真のリーダーシップのとれる方を置く必要があると思うがいかがか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高原町の現状は、確かに新聞報道等にあるとおり厳しいものであると感じている。</li> <li>高原町をより良くしていくために、この町政報告会などを通して、町民の方々との交流（意見交換など）を行いながら、町をより良くしていくためには何が必要なのか考えていく。</li> </ul>	町長
上麓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4、5年前に移住してきた。</li> <li>今ある施設を利用して町外から人を呼ぶるといいと思うが、例えばゴルフ場、温泉等でスポーツ選手を呼ぶなど案があれば教えていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存施設の活用については、地域商社が7月に空き家を購入して、民泊を進めている。</li> <li>スポーツについては、ゴルフ場利用はふるさと納税の返礼品にも入っている。</li> <li>総合運動公園・グラウンドは、町民のグラウンドゴルフ、子供のサッカー大会に活用されている。</li> <li>民間でサッカー関係者が、町外の方に合宿を含んだ活用をしてもらおうと動いている。</li> <li>関係人口づくりと関連して取り組んでいきたい。</li> </ul>	町長
上麓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと納税改正（5割ルール等）があるが、今後産品が減ったりするのか。</li> <li>そのあたりの見通しは。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までも5割ルールの下で取り組んでおり、地域商社でも遵守して取り組んでいる。</li> </ul>	町長

◆その他町政等

区名	質問・意見等	回答	
上麓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・忠霊塔児童公園の草が生い茂っている。以前は草刈りしてくれていて、子供が遊んだり、野球の子が利用したりしていた。衛生面も気を付けないと、虫刺されなどを高原町の公園のせいにされるのを懸念。駐車場のフェンスも壊れたままさびており、事故が起きることを懸念している。このあたりの目線で見ただけだと、町外からの人にも気持ちよくきていただけるのでは。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・忠霊塔児童公園は町が管理しなければならない施設であり、子供たちが気持ちよく遊べる環境を整える必要がある。早速明日現場を見て草刈り等したいと思う。</li> </ul>	町長
上麓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台風6号の山崩れで、ゴルフ場下の自分の兄の畑に泥が入っているが、役場が補償するのか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町道沿いで数か所山林崩壊が起きており、町道が通行止めになっている。町や県でも災害調査をしており、県知事、関係部長にも早期の復旧に向けてお願いをしてきた。町道改修はする。崩壊した山林は山の持ち主への補償はできない。何らかの復旧手当はする。それぞれの現場でどのような手当ができるかは現場をみていきながらの判断となる。</li> </ul>	町長
下麓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの報告会で何か良い意見などがあったか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院が必要、不必要という意見があり様々であるが、これまでの様々な意見を集約して考えたい。</li> </ul>	町長
下麓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと納税で町民が町外の人へ紹介した時の紹介プレゼント的なものは考えられないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今の提案を参考にしたい。</li> </ul>	町長
下麓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと職員が身を引き締めて町民がどういう風に考えているか聞いてほしい。議会報告会にも出席すべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員がいずれかの会場で出席するようにしている。</li> </ul>	町長
鹿児島	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会では自殺者が増加していて、宮崎県も全国の中で割合が高い。町内の高齢者率は。自殺に関しての町としての対策はあるのか。1人暮らしの高齢者に対する対策は。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化率（65歳以上）は40%を超えている。西諸2市1町、民間も含めたうえで取り組みを継続している。社会福祉協議会や区長などを通じて、1人世帯の見守り活動を継続している。老人クラブが活性化してきた。高齢者のいきがいや活動の場が生まれてきている。</li> </ul>	町長
鹿児島	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他県の町では過去に職員の給与カットが行われていた。財政状況はどんどん厳しい状況になっているのは明らか。病院についても、いつまでに結論を出すということを定めないと時間だけが過ぎていく。攻めと守りの動きをしなければならないのでは。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役場職員の人件費を削減する方針も考えていかなければならない。町民に理解してもらうことも必要である。8億2000万円の町税のうち、約2割はふるさと納税による寄付である。</li> </ul>	町長
鹿児島	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレミアム商品券、ペイペイキャンペーンの財源は。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国（県）からの費用であり、町からの財源ではない。</li> </ul>	町長

◆その他町政等

区名	質問・意見等	回答	
常盤台	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと納税の返礼品の肉は高原町産ではないのが多いのでは。 すべて町内産すべきでは。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと納税返礼品の基準は今年厳しくなり、より、その自治体で生産されたもの、加工されたものでなければならなくなっている。 現在も町内の加工工場、町内の商店から肉の返礼品をお返ししているが、今後はよりその割合を増やしていきたい。 畜産農家へのご協力もお願いしたい。</li> </ul>	町長
常盤台	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水源地では毎日ポンプアップしている。 電気代もかさむのに「財政が厳しい」と言うのもどうか。 台風被害も1日でも早く復旧すべきではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水源地の本格復旧に向け取り組んでいる。 道路、水道、法面、など分けて発注しており、現在は仮設で対応している状態。</li> </ul>	町長
常盤台	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度台風時に職員ともめた。 災害時の水源地の水にお金をとるのはおかしいのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年の断水のときの畜産農家にも大変ご迷惑をおかけした。 生活用水、経済活動に使われる水が不足していたと反省しており、今後はそれらの水を供給できるように工夫していきたい。</li> </ul>	町長
常盤台	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員全員の人件費を削減したらよいのでは。 高原町職員が仕事に車内でたばこを吸っていたことを聞いて腹が立っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人件費は説明以外にも様々な方法で圧縮していきたい。 たばこの件については、聞き取り調査をして注意をしていきたい。</li> </ul>	町長
常盤台	<ul style="list-style-type: none"> <li>・去年新燃岳爆発の避難訓練をしたときに、保護者が学校まで車で迎えに行き自宅に帰らせているが、結果的に新燃岳に近いほうに移動することになっていたのでおかしいと思う。 体育館等に避難させればよいのではないか。 次に訓練するときはそのあたり考えて欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1月26日前後の新燃岳の避難訓練は「引き渡し訓練」。 町内小中学校で一斉に、保護者に迎えに来てもらい、学校から自宅に連れて帰ってもらう訓練。 噴火の間は体育館に待機し、噴火が終わった後に保護者に迎えに来てもらう訓練と理解して欲しい。</li> </ul>	教育長
常盤台	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台風6号で土砂が牛舎に入ってきた。 当夜に町の職員、農協の方が来てくれた。 翌日、農協職員約9人が重機等で土砂撤去作業をしてくれたが町職員は来ず、ごみを捨てるのも産業廃棄物だからどこにでも捨てられないと言った。 産業廃棄物の捨てる場所を教えるのは役場の仕事ではないか。 水が足りない時の対応も担当課だけが役場職員だけではないだろう。 (他課職員も対応を)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・翌日町職員が来なかったことについて、台風6号時は災害対策本部を立ち上げ、町全域の災害対応、調査をしていた。 役場と農協の間でどのようなやりとりがあったか確認する。 災害に伴う産業廃棄物の処理について、一般家庭ごみと区別する基準がなかったことが反省点。 牛舎内の土砂の一時的な仮置き場は、今後の検討が必要と考える。</li> </ul>	町長

◆その他町政等

区名	質問・意見等	回答	
常盤台	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒木電器から山本組に抜ける道（希望の店そば）に、通行止め予告看板（区間と期間は不明）が出ていた。土砂崩れの通行止めにより現在この道が通勤・通学道路になっており、自転車の子どもたちも通っているため、土砂崩れの通行止めが解除されるまで延期してもらえないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事で通行止めになる場合は、区長会等を通じて広報をするが、それがなされていたかの確認をする。看板表示と工期の関係を確認したい。</li> <li>・舗装が悪いため補助事業で舗装する予定。通常通行止めでは朝夕は通行できるようにしているので、再度担当者に確認をとり、業者への指導も行う。</li> </ul>	町長 建設水道課長
常盤台	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政に対して何をしていたのかという気持ち。道路の通行止めについて、今の道路は細いのに大型も通り、離合もできない。枝葉を切るなどの対応もして、道路いっばいに車が通行できるように対応してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1日でも早く利用できるように早期復旧の努力をするのでご理解いただきたい。道路は安全だと確認できない以上は供用できないため、不自由をおかけするが、進捗状況を皆さんに伝えながら取り組んでいきたい。</li> </ul>	町長
常盤台	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小林4万人に対して議員16名、高原町の人口で議員が10名は多いのでは。7人程度ではないのか。町民の代表なので町民の意見を聞きながらもっと対応して欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議員定数については私から言及することはできない。会場にいる議員さんは各会場を回って町民の意見を聞いており、今回も意見も聞いていると思う。</li> </ul>	町長
常盤台	<ul style="list-style-type: none"> <li>・う回路になっている方（下の方）の道路は車の通行が増え、ヒューム管が落ちたりしているが危なくないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コルゲートが吹っ飛んでいるが、道路下のコルゲートの安全は確認しており、4t車規制している。また、道路下に水が通水した個所とは異なり、この道路の下は穴ができていない。</li> </ul>	建設水道課長
常盤台	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4t車規制になっていても通っている大型車もあり、しかも他の通行者に避けさせて通行している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域農道は4t車規制をしているが、通行している案件があれば、町としても調査、規制を徹底していくようにしたい。</li> </ul>	建設水道課長
常盤台	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町議員について、選挙時、自宅には選挙カーが来ない。近づいてきたら家の前で待っているが誰一人来なかった。音を出して回れないのなら、音を出さずに回ることはできるはず。</li> </ul>		
常盤台	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年の台風後、水を配るのに最初、民生委員を利用した。70すぎた女性が多いのに、町の職員が同伴するなどの対応ができなかったのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飲料水配布を民生委員にお願いした件については、高齢者で水が確保できない方の確認ができない状態だったので、地域に詳しい民生委員の方にお問い合わせざるを得なかった。町職員は災害対応の分担でそれぞれの役割を果たしているが、民生委員の方にご迷惑をおかけしたことを反省し、今後十分検討していきたい。</li> </ul>	町長

◆その他町政等

区名	質問・意見等	回答	
常盤台	・自宅は水がでたが、区長と民生委員が水を配りにきた。水の出るところには配らなくていいとハッキリ言わないとわからなかったのか。		
常盤台	(要望) ・ゴルフ場の通行止め箇所は、大きい車が通るときに土手が崩れていっている。 そこが崩れるとどこの道も通行できなくなるため早急な対応をしてほしい。		
常盤台	・陥没したところのコレゲートは変えるのか。 上の方からオーバーフローしているのでコレゲートは大きいものに変えないといけないのではないか。	・災害復旧対応で同じ大きさの管だが、コレゲートでなくて、流れやすいプラ製のような管に変える。	建設水道課長
常盤台	・畜産をしているので、運搬は大型車しかない。 大型車通行止めの区間を許可証などで通行できるようにしてもらえないと営業ができない。 また、許可証があれば地元の方たちからも理解してもらいやすい。 できれば対応してほしい。	・仕事用車両が大型車であることは、地元の方もわかっていると思う。 検討させて欲しい。	町長
常盤台	・町長の後列に座っている人たちが何をしているかわからない。	(各課長自己紹介)	
常盤台	・職員を含め、この会場でペイペイを利用している人はどれくらいいるか。	(利用している人は挙手、10名弱)	
常盤台	・ペイペイキャンペーン(8月)、プレミアム商品券(9月~)の予算の財源は。 また、年金暮らしは偶数月に支給されるため、プレミアム商品券の開始は10月からにしてほしい。	・国の財源。 コロナによる消費の落ち込み、物価高騰対策として取り組んでいる。 ペイペイは高齢の方には使いづらいという意見もあり、プレミアム商品券も実施している。 町ではスマホ教室も10回以上開催し、その内容は基本的な操作から、ペイペイをコンビニで使うなど。 プレミアム商品券の時期については、今後十分工夫していきたい。	町長
湯之元	・町外からきている職員がいると思うが、採用する際町内に住むことを条件にすることはできないのか。 うちは畜産農家で、365日休みはない。 役場は色んな手当も支給されるのだから残業をどんどんしてもっと早く色んなことを進めてほしい。	・町内に住むことを条件にすることはできない。 町外に住む職員にはふるさと納税で町に協力をもらっている。	町長
湯之元	・台風等の災害のときももって県や国に要望をあげてほしい。	・今回の台風災害対応についても要望活動を実施している。 今後、災害が発生した際は要望をしていきたい。	町長

◆その他町政等

区名	質問・意見等	回答	
湯之元	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敬老会への補助にふるさと納税を活用できないのか。白寿、米寿、喜寿のお祝いもふるさと納税を活用できないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敬老会のお祝いをどうするのかは、今後また相談させていただきたい。白寿、米寿、喜寿についても今後どうしていくのか相談させていただきたい。</li> </ul>	町長
湯之元	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校建設、庁舎建設が困難になった。大規模災害が起きた場合、庁舎等が被災した場合機能が停止しないのか。その場合どのような対応をとるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在庁舎は耐震補強できていない状況である。そのほかの施設も対応していかないといけないが、学校を優先するという考えであった。災害が起きた場合は機能をほほえみ館に移行する計画ではある。ただ庁舎建設については今後の見通しはたっていない状況である。</li> </ul>	町長
全地区 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域商社について、通常、株式会社であればその資本金を、設立する代表者が銀行などから出資を募りやっっていくのが基本と考える。何故高原町が出資しているのか。また、商社の社員の給料なども町が出資の中から出しているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商社については、特に町にとっての貴重な財源（外貨）であるふるさと納税を増やすことを目的に、集中的に取り組む必要があると考えたため、町がまず出資者となり設立に至った。商社の社員の給料については、ふるさと納税で得た収益の12%や、その他商社で行う自主事業からの収益で賄われている。</li> <li>・地域商社については、全国には100社ほどある。商社設立については、国などの補助金や交付金を使っている。</li> </ul>	町長 産業創生課長
全地区 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域商社の社長はどういう理由で選ばれたのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域商社の社長については、公募により選んでいる。</li> </ul>	町長
全地区 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域商社の場所が前町立病院長宅になっているようだが、どうしてそこを活用しなければならないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域商社の場所に旧院長住宅を使用しているのは、使用されていない公有財産を有効的に活用したいと考えたため。</li> </ul>	産業創生課長
全地区 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業創生の推進監について、元市長と聞いているが、行政問題について精通していると思われる。町の行政コンサルとして動いてもらうことはできないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・推進監について、元自治体の首長としての視点からのアドバイスはいただいている。ただし、それは行政コンサルとしての立ち位置で行ってはいいただいない。</li> </ul>	町長
全地区 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報開示は大事だと思うので是非やってもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報開示について、例えば今ある病院、学校、財政問題などの報告など、色々やり方はあると思うが、今回の報告会などで、町民の皆さんに情報を開示することも一つのやり方だと考えている。情報開示についても、色々なやり方（広報や区長会等を通じて）があるので、適宜状況に応じて行っていきたい。</li> </ul>	町長

◆その他町政等

区名	質問・意見等	回答	
全地区 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災無線が聞こえない、特に雨の降っている日や風の強い日など。</li> <li>・災害が起こる前に何かしらの情報を知りたい時に知ることができない。</li> <li>・防災メールなどあるにはあるが、使えない人はどうすればよいのか。</li> <li>・災害などで知りえる情報が得られなかった場合、被害が起こった時に、町は町民に対し賠償などの責任は負えるのか。</li> <li>・町は防災の意識が足りないと思うが。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災無線に関しては、当初導入したのが新燃岳噴火の時に、特に屋外にいる方に注意喚起を図る目的で設置したものであった。</li> <li>・確かに屋内にいる方々へは、その時の気象条件などにより聞こえづらかったりするなどの、問い合わせをいただいている。</li> <li>・それらを踏まえ、防災無線の更新時期が2～3年後に行われる予定であるため、個別受信機の導入などについても検討していく。</li> </ul>	町長
全地区 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総務課に課長が2人いる理由はなぜか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総務課は総務課長1名。</li> <li>・統括主監1名「※配置は（私）町長が指定した」</li> </ul>	町長
全地区 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財政困難の対策として若年層の移住を促進することが重要と考えるが、どのような対策や取り組みを考えているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口流出を抑制するため若しくは、Uターンしてもらうために、町の魅力を高める、福祉・子育て環境の充実、産業を活性化し雇用促進、起業支援に取り組んでいる。</li> <li>・また、移住定住に対しては助成を行っている。</li> </ul>	町長
全地区 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商社社屋に病院院長宅を使用しているが、どのような手続きで許可しているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊休資産となっていたため現院長の意向を確認し判断した。</li> <li>・なお、病院財産から町財産へ移管されている。</li> <li>・院長宅については、家屋管理や維持の観点からも貸し出すことを決め、家賃収入を得る判断とした。</li> <li>・かつ、事業が軌道にのるまでの仮屋的な位置づけである。</li> </ul>	町長 産業創生課長
全地区 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商社の事業内容がみえない。</li> <li>・ふるさと納税の用途内訳を教えて欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと納税は、寄附金であるので特定の事業に充てて活用している。</li> </ul>	町長
全地区 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・御池開発や商社の活動は、今、本当に必要なことなのか。</li> <li>・ふるさと納税が好調といっても町の取り分は少ないのではないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと納税増やすためには、商社へ委託することが最善と判断した。</li> <li>・ふるさと納税の内訳については、経費が約50%、12%は商社への委託費で、差し引きが町の収入となる。</li> </ul>	町長
全地区 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料3中のこれまでの経緯に「H31」との記載があるが、「R1」の間違いではないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和への元号改正は5月からであり、記載した内容はH31年4月の出来事である。</li> </ul>	町長
全地区 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町政を好転させるために人件費の削減、デジタル化（マイナンバー活用）推進を進めて欲しい。</li> <li>・若者を呼び込むためには利便性の向上が大事だと思う。（意見）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご意見については、思いを同じくする面も多く推進してまいりたい。</li> </ul>	町長